

『源氏物語』における「ありがたし」本文異同

泉屋 咲月

はじめに

ひとつの表現の特徴を検討するにあたり、本文の異同はきわめて重要な問題である。本稿では、『源氏物語』における「ありがたし」という表現（「ありがたげなり」なども含む）について、新編日本古典文学全集（小学館）『源氏物語』（以下「新全集」と略記）の本文に拠って全一・二八例を挙げ、『源氏物語大成 校異編』、『河内本源氏物語校異集成』、『源氏物語別本集成』、『源氏物語別本集成続』を用いて、諸本との異同を確認し、異同がある場合にはそれらを示した。

「ありがたし」という表現を検討するにあたっては、「ありがたし」という評価の対象となっているものや、「ありがたし」と接続する語との関係も考慮すべきであろう。したがって、本稿では、各用例で用いられる「ありがたし」のほか、「ありがたし」の前後に

接続する語、「ありがたし」という評価の対象となっている箇所についても、本文異同を確認した。さらに、「思ふ」「見る」など、「ありがたし」という評価・判断を示す語（助動詞や補助動詞や助詞も含む）がある場合は、それについても異同を確認した。ただし、新全集本文と諸本本文との差異が、濁点の有無のみである場合は、異同として掲げることはしなかった。

一 表記方法

各用例において引用した『源氏物語』本文は、新全集に拠るものである。用例の登場順序（1～128）の下に、新全集における巻名、巻数、頁数を示した。「ありがたし」の前後に接続する語として認定したものに波線、「ありがたし」の対象として認定した箇所には傍線（一重線）、「ありがたし」という評価・判断を示す語（助動詞や補助動詞や助詞も含む）として認定したものは二重線をそれぞれ

付した。

用例によっては、『源氏物語大成 校異編』、『河内本源氏物語校異集成』、『源氏物語別本集成』、『源氏物語別本集成』と新全集とで、本文が異なる場合がある。その場合、それぞれの線を付した箇所について、新全集本文との異同を示した。原則として、それぞれの線を付した箇所についての異同を示したが、線を付した箇所の異同だけを示すと本来の異同と文意が異なってしまう場合は、線を付した箇所の前後を含めて異同を示した。異同を掲げる際には、新全集本文の句読点および引用符は省略した。

異同を示す際の記号や諸本の略号などについては、『源氏物語大成 校異編』、『河内本校異集成』、『源氏物語別本集成』、『源氏物語別本集成』の表記をそれぞれ採用した。本稿においては、諸本の略号はそれぞれ丸括弧（ ） 内に表記した。『河内本校異集成』において拮抗括弧（ ） 内に表記された略号に関しては、丸括弧内に亀甲括弧を記し、その中に略号を記した。また、『源氏物語大成』および『河内本校異集成』におけるミセケチの表記（該当箇所左側に一重線を付す）は、本稿では取り消し線にあらためた。また、『源氏物語大成』においては該当箇所の左傍に○を付すことで補入された文字を示しているが、本稿では右傍に○を付した。なお、『源氏物語大成 校異編』、『河内本源氏物語校異集成』、『源氏物語別本集成』、『源氏物語別本集成』に関しては以下の略号を用いた。

・【大成】…『源氏物語大成 校異編』

・【河内本】…『河内本源氏物語校異集成』

・【別本】…『源氏物語別本集成』

・【別本統】『源氏物語別本集成統』

二 本文異同

1 ◆（桐壺①二一）

それにつけても世の譏りのみ多かれど、この皇子のおよすけもておはする御容貌心ばへありがたくめづらしきまで見えたまふを、えそねみあへたまはず。

【大成】青表紙本…皇子—みこ（池）、御容貌—御かたち（池）、見え—みえ（池） 別本…心はへ—人こゑ（御）—ありさまよに（陽）、めづらしき—めづらかなる（陽麥）、見えたまふを—みえたまへは（陽國麥）

【河内本】ありがたく—ありがたくありかたく（平）、めづらしきまで見えたまふを—めづらかなるまで見えたまへは（河）

【別本】この—此／此&此（麥）—此（阿）、皇子の—みこの（陽）—御この（御）—きみの（国）—御子（麥）—みこ（阿）、およすけ—やうく／をよすけ（陽）—おかすけもて／か\$よ（御）—およすけもて（国尾）—をよすけもて（麥阿）、御容貌—御かたち（陽）、心ばへ—ありさま（陽）—人はゑ（御）、ありがたく—よにありかたく（陽）—ありかたう（国）—有かたく（麥阿）、

めづらしきまで―めづらかなるまで(陽)―めづらかなるまで／
かなる\$ (朱)しき(麦)、見え―みえ(陽御国)、たまふを―た
まへは(陽尾)―給を(御)―給へは(国)―給を／へき&を(麦)
―給ふを(阿)

【別本統】この―この／〈改頁〉(伏)、皇子の―みこの(陽)―御
この(穂)、およすけもて―やうくをよすけ(陽)―をよすけ
もて(肖日保)―をよすけもて／け〓成人ノコト(前)おはする
―をはする／をお(前)、心ばへ―ありさま(陽)―心はへ／
〈改頁〉(高)、ありがたく―よにありかたく(陽池肖日伏穂保高
天)―有かたく(前)、めづらしきまで―めづらかなるまで(陽
高)、見え―みえ(池肖日伏穂保)、たまふを―たまへは(陽高)
―給ふを(肖保)―給を(日伏前天)

2 ◆ (桐壺①四〇)

文など作りかはして、今日明日帰り去りなむとするに、かくありが
たき人に対面したるよろこび、……

【大成】河内本…ありがたき―めつらしくありかたき(河) 別本…
ありがたき―めつらしくありかたき(陽麥)

【河内本】ありがたき―めつらしくありかたき(河)

【別本】かく―△く(麦)、ありがたき―めつらしくありかたき(陽
尾)―めつらしく／\$ (朱)有かたき(麥)―有かたき(阿)

【別本統】めづらしく―ナシ(池肖日伏穂保前天)、ありがたき―

有かたき(前)、対面―あひ(陽高)―たいめむ(池日保)―た
いめん(肖伏穂前天)、したる―たてまつりたる(陽高)、よろこ
び―よろこひの(高)

3 ◆ (桐壺①四二)

「亡せたまひにし御息所の御容貌に似たまへる人を、三代の宮仕に
伝はりぬるに、え見たてまつりつけぬを、後の宮の姫宮こそ、いと
ようおぼえて生ひ出でさせたまへりけれ。ありがたき御容貌人にな
ん」と奏しけるに、まことにやと御心とまりて、ねむごろに聞こえ
させたまひけり。

【大成】青表紙本…御容貌人―御かたち人(池)、河内本…御容貌
人―御かたち人(池)―御かたち(河) 別本…ありがたき―た
くひありがたき(陽)、御容貌人になん―御かたち人になん(池)
―御かたちになん(御・麥)―御かたちなり(陽)―御かたちに
そ(國)

【河内本】御容貌人―御かたち(河)―御かたち人(岩)

【別本】ありがたき―たくひありがたき(陽)―有かたき(麥阿)、
御容貌人―御かたち(陽御国麦尾)

【別本統】ありがたき―たくひありがたき(陽)―有かたき(伏)
―有難／〓アリカタキ(朱)(穂)

4 ◆ (桐壺①九〇)

君は人ひとりの御ありさまを、心の中に思ひつづけたまふ。これに、
足らずまた、さし過ぎたることなくものしたまひけるかなとありが
たきにもいとど胸ふたがる。

【大成】 該当なし

【河内本】 該当なし

【別本】 ありがたきにも―有かたきにも (御)

【別本続】 ありがたき―有かたき (歴)

5◆(空蟬①一二六)

憎しとはなけれど、御心とまるべきゆゑもなき心地して、なほかの
うれたき人の心をいみじく思す。いづくに這ひ紛れて、かたくなし
と思ひゐたらむ、かく執念き人はありがたきものを、と思すにしも、
あやにくに紛れがたう思ひ出でられたまふ。

【大成】 青表紙本…思すにしも―おほすしも (池)―おほすにし
も (御横池秀肖三) 河内本…人は一人の心は (河)、思すにしも

―おもほすにしも (河) 別本…人は一人の心は (陽飯)―は (麥
阿)

【河内本】 かく―かう (河)、人は一人の心は (河)、思すにしも―
おもほすにしも (河)

【別本】 かく―かう (陽)、執念き―しうねき (陽御国尾)―しう
ねきは (麥阿)、人は一人の心は (陽御国)―ナシ (麥阿)―人
のこ、ろは (尾)、ありがたきものを、と―ありかたき物をと (陽

御国)―有かたき物おと (麥)―有かたきものをと (阿)―あり
かたきものをと (尾)、思すにしも―おもほすにしも (陽御国尾)
―おもほすも (麥阿)

【別本続】 かく―かう (陽穂高天)、執念き―しうねき (陽国肖日
穂保前高天)―しふねき (池御伏)―しふねき／う&ふ (静)、
人一人の心 (陽高天)―人は／(改頁) (肖)、ありがたきものを
―ありかたき物をと (陽肖日穂前高天)―ありかたき物をと／(改
頁) (保)、思すにしも―おもほすにしも (陽高天)―おほすにし
も (池御国肖静日伏穂保前)

6◆(末摘花①二七六)

「いでや、さやうにをかしき方の御笠宿には、えしもやと、つきな
げにこそ見えはべれ。ひとえにもものづつみし、ひき入りたる方はし
も、ありがたうものしたまふ人になむ」と、見るありさま語りきこ
ゆ。

【大成】 青表紙本…ものしたまふ―ものし給ふ (大)

【河内本】 ありがたう―ありかたたく (河)

【別本】 ありがたう―有かたたく (阿)―ありかたたく (尾)、ものし
―物し (阿)、たまふ―給 (御尾)

【別本続】 ありがたう―ありかたふ (国)―有かたう (伏)―あり
かたたく (高天)、ものし―物し (池肖日前)、たまふ―給 (陽国善
伏穂高天)―給ふ (肖前)

7◆(紅葉賀①三三五)

はかなきことをも言ひふれたまふには、もてはなることも**ありがたき**に、目馴るるにやあらむ、げにぞあやしうすいたまはざめると、こころみに戯れ言を聞こえかかきなりなどするをりあれど、情ながらぬほおどについ答へて、まことには乱れたまはぬをまめやかにさうざうしと思ひきこゆる人もあり。

【大成】別本…**ありがたき**に—有かたきに(大) —かたきに(御)

【河内本】該当なし

【別本】もてはなることも—もてはなる、事も(麦阿尾)、**ありがたき**に—有かたきに(麦阿)

【別本統】もてはなること—ナシ(氏)、ことも—事も(陽日伏)

穂高天) —ナシ(氏)、**ありがたき**に—かたきに／〈改頁〉(御)

—ナシ(氏) —有かたきに(前)

8◆(花宴①三五九)

かうやうなるにつけても、まづかのわたりの**ありさま**の、こよなう奥まりたるはや、と**ありがたう**思ひくらべられたまふ。

【大成】青表紙本…思ひくらべられたまふ—おもひくらへられ給

ふ(大) —おもひくらへられ給ふ(三三) 河内本…**わたり**—御あ

たり(宮)、**ありさま**の—御**ありさま**の(河) 別本…**ありさま**の

—**ありさま**(御)

【河内本】**わたり**—御**あたり**(宮)、**ありさま**の—御**ありさま**の(河)、

こよなう—こよなく(玉岩)、**ありがたう**—**ありかた**く(宮玉)

【別本】**ありさま**—御**有さま**の(麦御阿) —御**ありさま**の(尾)、

ありがたう—有かた^く(麦)、思ひ—思(麦阿尾) —おもひ(御)、

たまふ—給(麦阿) —ナシ(御) —たまふ(尾)

【別本統】かの—かの／〈朱合点〉(肖) —かの／〓薄雲(高)、わ

たりの—わたりの〓藤壺ノコト(前) —御**あたり**の(高)、あ

りさまの—**ありさま**の／〈改頁〉(国) —御**ありさま**の(天)、あ

りがたう—有かた^う(陽) —**ありかた**く(高) —**ありかた**ふ(天)、

思ひくらべられ—思△らへられ(陽) —思くらへられ(国伏穂天)

—おもひくらへられ(肖高) —おもひくら／ら+へられ(日) —

思くらへられ／後ら〈改頁〉(保)。たまふ—給／〈改頁〉(陽)

—給(池肖穂前高) —給ふ(国天) —ふ／+給(日)

9◆(葵②四五)

御髪みかみの乱れたる筋もなく、はらはらとかがれる枕のほど**ありがたき**まで見ゆれば、年ごろ何ごとを飽かぬことありて思ひつらむと、あやしきまでうちまもられたまふ。

【大成】青表紙本…御髪みかみの乱れたる筋もなく—御くしのみられた

るすちもなく(大)、見ゆれば—みゆれば(大) 別本…はらはら

—きらく(陽)、枕—御まくら(陽)

【河内本】該当なし

【別本】御髪の―御くしの(陽御尾)―御くしは(麦阿)、乱れたる筋もなく―みたれたるすちもなく(陽御麦阿尾)、はらはらと―きらくと(陽)、御枕の(陽)―まぐらの(御麦尾)、ありがたきまで―有かたきまで(麦阿)、見ゆれば―みゆれば(御阿)

【別本統】御髪の―御くしの(陽池国肖日穂保前高天)―御くし(伏)、乱れたる―みたれたる(陽池御国甲肖氏日伏穂保前高天)、筋も―すちも(池国肖穂保前高天)―すちも／＼(改頁)(日)―すち(伏)、なく―なく／＼(改頁)(国)、はらはらと―きらくと(陽)、かかれる―か、れる／＼(ママ)(保)、枕の―御まぐらの(陽)―まぐらの(池日伏穂高天)―まぐら／＼(前)、ほど―程(穂保)、見ゆれば―みゆれば(池国日伏穂前高)―みゆれば／＼(改頁)(肖)

10 ◆(葵②七六)

御裳着のこと、人にあまねくはのたまあはねど、なべてならぬさまに思しまうくる御用意など、いとありがたけれど……

【大成】青表紙本…思しまうくる御用意など―おほしまうくる御用意など(大)

【河内本】御用意―御よそ(う)ひ(岩)、ありがたけれど―ありかたきけれど(七)

【別本】思しまうくる―おほしまうくる(陽御尾)―おもほしまうくる(麦)―おもほしまうくる(阿)、御用意など―御ようゐな

と(陽)―御よういなと(御尾)―御よそひなど(麦阿)、ありがたけれど―有かたけれど(麦阿)

【別本統】なべてならぬ―なへてならぬ／＼(改頁)(伏)、さまに―様に(保)、思しまうくる―おほしまうくる／＼(改頁)(陽)―おほしまうくる(池国肖日伏穂保前高天)、御用意など―御ようゐなと(陽肖日穂前)―御よういなと(池国伏保高天)、いと―いと／＼(改頁)(穂)、ありがたけれど―ありがたけれど／＼(改頁)(高)頁(肖)―有かたけれど(保)―ありがたけれど／＼(改頁)(高)

11 ◆(賢木②一〇二)

大將は、ありしに變らず渡り通ひたまひて、さぶらひし人をも、なかなかこまかに思しおきて、若君をかしづき思ひきこえたまへること限りなければ、あはれにありがたき御心と、いとどいたつききこえたまふことども、同じさまなり。

【大成】別本…ありがたき―ありがたき事(陽)、御心―御心(御)さし

【河内本】該当なし

【別本】あはれに―哀に(阿)、ありがたき―あり△たき(陽)―有かたき(麦)、御心と―事御心と(陽)―御心さしと(御)―御心(相)

【別本統】あはれに―哀に(前)―あわれに(天)、ありがたき―ありがたき／＼(判読)事―(陽)―ありがたき／＼(改頁)(穂)

―有かたき(前)、御心と―御こ、ろと(池日)

12◆(須磨②一八四)

まして常に参り馴れたりしは、知りおよびたまふまじき長女、御厠人まで、ありがたき御かへりみの下なりつるを、しばしにても見たてまつらぬほどや経むと、思ひ嘆きけり。

【大成】該当なし

【河内本】御かへりみの―御かへ(り)見の(七)

【別本】ありがたき―有かたき(麦阿)―、御かへりみの―御かへりみの(陽御国阿相尾)、下―した(陽御国阿相尾)

【別本統】ありがたき―有かたき(国)、御かへりみの―御かへり見の(池国)―御返みの(穂)、下―した(陽池国ハ伏穂前高天)―した/たエン(肖)

13◆(須磨②二一五)

主の君、かくかたじけなき御送りにとて、黒駒奉りたまふ。「ゆゆしう思されぬべけれど、風に当りては、嘶えぬべければなむ」と申したまふ。世にありがたげなる御馬のさまなり。

【大成】該当なし

【河内本】該当なし

【別本】世に―よに(陽御麦三尾)、ありがたげなる―有かたけなる(麦阿)、御馬の―御むまの(陽御三尾)

【別本統】世に―よに(陽肖日ハ伏穂保高天)、ありがたげなる―有かたけなる/か(改頁)(穂)、御馬の―御むまの(陽池伏穂前天)―おほんまの(ハ)―御むまの/改頁(高)

14◆(濤標②二八七)

さる所にはかばかしき人しもありがたからむを思して、……

【大成】青表紙本…人しも―人しも(池)、ありがたからむ―ありかたからん(定) 河内本…はかばかしき人しも―はかくしきほとの人も(河)、ありがたからむ―あらし(御七宮大尾)―あらしをとおほしやりて(七)

【河内本】はかばかしき人しも―はかくしきほとの人も(河)〔はかくしき―はるくしき(岩)〕、ありがたからむを思して―あらしをおほしやりて(河)〔あらしを―あらしをと(七)―あらしを(とイ)(宮)〕※

【別本】はかばかしき人―はかくしき、はかくしき程の(尾)、ありがたからむを―有かたからんを(陽麦阿)―あらしを(尾)、思して―、ほして(をほして)(陽)―おもほして(麦阿)―おもほして(東)―おほしやりて(尾)

【別本統】はかばかしき―はかくしき(改頁)(陽)―はかくしきほと(御鶴高天)―いかくしき/い(ママ)(静)、ありがたからむ―有かたからんを―有かたからんを(陽)―あらしを(御天)―ありかたからんを/ママ(国)―ありかたからん

を(肖伏穂保前)―ありかたからんと(静)―あらざらんを(鶴)―あらしを/を+とイ(高)、思して―、ほして(をほして)(陽)―おほして(池国肖日伏穂保前)―おほしやりて(御鶴高天)―おほして/〈改頁〉(静)

15◆(滲標②二八九)

乳母にも、ありがたうこまやかなる御いたはりのほど浅からず。

【大成】青表紙本…ありがたう―ありかたく(平池)、こまやかなる―こまやかに(平)

【河内本】ありがたう―ありかたく(河)

【別本】ありがたう―有かたう/かた&かた(陽)―有かたう(麦阿)―ありかたく(尾)、ほど一程(東)

【別本統】ありがたう―有かたう/かた&かた(陽)―ありかたく(池御高天)―ありかたふ(鶴)―ありかたく/く&う(前)、ほど一程(肖)

16◆(滲標②二九〇)

入道待ちとり、喜びかしまりきこゆること限りなし。そなたに向きて拝みきこえて、ありがたき御心ばへを思ふに、いよいよいたはしう、恐ろしきまで思ふ。

【大成】該当なし

【河内本】該当なし

【別本】ありがたき―有かたき(陽麦阿)、御心ばへ―御心はえ(麦尾)

【別本統】ありがたき―有かたき(陽)―ありかたき/き〈改頁〉(国)、御心ばへを―御こ、ろはへを(日)―御こ、ろはえを(伏)

17◆(滲標②二九四)

思しやることもありがたうめでたきさまにて、まめまめしき御とぶらひもあり。

【大成】青表紙本…思しやること―おほしやる事(大)、ありがたう―ありかたく(家平池三) 河内本…思しやること―おほしやること(御七宮尾)―おもほしやること(大)

【河内本】思しやることも―おもほしやること、も(河)(やれる―やる(大)) (こと、も―こ(こ)と、も(御)、ありがたう―ありかたく(河)

【別本】思しやる―おほしやる(陽東)―おもほしやる(麦阿)―おもほしやれる(尾)、ことも―事も(陽麦阿)―事とも(尾)、ありがたう―有かたう(陽麦阿)―ありかたく(尾)、さまにて―さまくくにて

【別本統】思しやる―おほしやる(陽国肖日伏穂保前)―おほしやる/や〈改頁〉(池)―おもほしやれる(御高)―おもほしよれる(鶴)―おもほしやる(天)、ことも―事(陽肖穂)―こと、も(池)―こと、も/こ(御)―こと、(鶴)―事とも/と\$

(前) 一事とも(高天)、ありがたう―有かたう(陽)―ありかたく(池御静日伏高天)―ありかたふ(鶴)―ありかたく／＼う(前)

18◆(濬標三〇五)

まことに神のよろこびたまふべき事をし尽くして、来し方の御願にもうち添へ、ありがたきまで遊びののしり明かしたまふ。

【大成】青表紙本…遊びののしり明かしたまふ―あそひの、しりあかし給(大)

【河内本】ありがたき―ありかたきかたき(岩)

【別本】ありがたきまで―有かたきまで(陽麦阿東)―、遊びののしり―あそひの、しり(陽阿東尾)―遊の、しり(麦)、明かしたまふ―あかし給(陽麦阿東尾)

【別本統】ありがたきまで―有かたきまで(陽)―ありかたきまで／＼(改頁)(穂)、遊びののしり明かし―あそひの、しりあかし(陽池国御肖静鶴日伏穂保前高天)、たまふ―給(池国御肖静穂保前高天)―給／＼(改頁)(御)―給ふ(鶴)

19◆(濬標三〇九)

まことや、かの斎宮もかはりたまひにしかば、御息所上りたまひて後、変らぬさまに、何ごとともとぶらひきこえたまふことは、ありがたきまで情を尽くしたまへと、……

【大成】該当なし

【河内本】該当なし

【別本】ありがたきまで―有かたきまで(陽麦)、情を―なさけ(陽麦尾)、尽くし(陽麦阿東尾)、たまへど―給へと(陽麦阿東)

【別本統】ありがたきまで―有かたきまで(陽前)、情を―なさけを(陽池御国肖時囿化鶴日伏穂保高天)、尽くし―つくし(陽池国御肖静鶴日伏穂保前高天)、給へと(陽池御国肖静鶴保前高天)―給えと(穂)

20◆(濬標②三一七)

御わぎなどの御事をもとり分きてせさせたまへば、ありがたき御心を宮人も喜びあへり。

【大成】河内本…御心―御心はへ(河)

【河内本】御心を―御心はへを(河)〔を―と(岩)〕

【別本】ありがたき―有かたき(陽麦阿)、御心―御心はえ(尾)

【別本統】ありがたき―有かたき(陽池国御肖静鶴日伏穂保前高天)―ナシ(高)―ありかたき／＼か(改頁)(天)、御心を〔御心はへを(御天)〕―御心はへと／＼は(改頁)(鶴)―御こ、ろを(伏)―ナシ(高)

21◆(蓬生②三二六)

古き女ばらなどは、「いでや、いと口惜しき御宿世なりけり。おほ

えず神仏の現はれたまへらむやうなりし御心ばへに、かかるよすがも人は出でおはするものなりけりとありがたう見たてまつりしを、おほかたの世のことといひながら、また頼む方なき御ありさまこそ悲しけれ」と、つぶやき嘆く。

【大成】青表紙本…見たてまつりし—みたてまつりし(大)

【河内本】ありがたう—有かたく(河)

【別本】ありがたう—有かたく(麦阿)、見—み(陽麦絵)、たてまつりし—奉りし—(麦阿)

【別本統】ありがたう—あり△たく(陽)—ありかたふ(国保)—ありかたう／〈改頁〉(肖伏)—ありかたく(善穂高天)、見—み(陽池御肖善日伏穂保高天)、たてまつりし—奉りし(前)

22◆(関谷②三六二)

「なほ聞こえたまへ。昔にはすこし思し退くことあらむと思ひたまふるに、同じやうなる御心のなつかしなむいとどありがたき……

【大成】青表紙本…同じやうなる—おなしやうなる(大) 河内本…

御心—御けしき(河)、いとど—いと(河) 別本…御心—御けしき(陽)、なつかしきなむ—なつかしきになんと(平)、いとど—いと(陽)—ナシ(平)、ありがたき—ありかたく(陽)

【河内本】御心—御けしき(河)、いとど—いと(河)

【別本】同じやうなる—おなしやうなる(陽麦阿尾絵)、御心の—御けしきの(陽麦阿尾絵)、なつかしきなむ—なつかしきなん(陽

尾絵)—なつかしきになと(麦)—なつかしきなと(阿)、いと(陽麦阿尾絵)、ありがたき—ありかたく(陽絵)—有かたき(麦阿)—ありかたき(尾)

【別本統】同じ—おなし(陽御国日伏穂保前高天)—をなし(池)

—おなし／な〈改頁〉(肖)、やうなる—様なる(伏)、御心の—御けしきの(陽天)—御こ、ろの(池)—御氣しきの(御高)、なつかしきなむ—なつかしきなん(陽池御国日穂保天)—はつかしきなん(伏)、いとど—いと(御保高天)、ありがたき—ありかたく(陽)—有かたき(前)

23◆(総合②三八二)

「俊蔭は、はげしき浪風におほほれ、知らぬ国に放たれしかど、なほさして行きける方の心ざしもかなひて、つひに他の朝廷にもわが国にもありがたき才のほどを弘め、名を残し古き心をいふに、絵のさまも唐土と日本とをとり並べて、おもしろきことどもなほ並びなし」と言ふ。

【大成】青表紙本…他の朝廷にも—人のみかとも(大)、わが国にも—わか國にも(大)—わかみかよ(くに)(横)—わかくに、も(榊)

【河内本】朝廷にも—みかとに(も)「朱」(尾)、わが国にも—わかくに(も)(岩)、ありがたき—ありかたし(き)(中)

【別本】つひに—つゐに(陽阿絵)、他の—人の(陽阿尾絵)、朝廷

にも―みかとも（陽阿絵）―みかとも／に＋も（尾）、わが―
我（尾）、国にも―くに、も（陽阿絵）、ありがたき―有かたき（陽
阿絵）、才―さえ（陽阿尾絵）

【別本統】他の一人の（陽池御国肖中日穗保前高天）、朝廷にも―
みかとも（陽池国肖中日穗保前高天）―御門にも（国伏）、わ
が―我（陽御國中伏前高）、国にも―くに、も（陽池中日穗保）、
ありがたき（有かたき（高）、ありがたし／し\$き（中）、才の―
さえの（陽池肖中日穗保前高天）―さえの（御国）―さへの（伏）、
ほど―程（高）

24◆（②薄雲四三八）

ただ御心さまのいらかにこめきて、かばかりの宿世なりける身にこ
そあらめと思ひなしつつ、ありがたきまでうしろやすくのどかにも
のしたまへは、をりふしの御心おきてなども、……

【大成】青表紙本…ものしたまへば―ものし給へは（大）―おは
すれは（御）河内本…ありがたきまでうしろやすくのどかにも
のしたまへば―のどかにかにうしろやすくものし給へはさるかたの
ありかたきものに思きこえ給へりさるへき事も（河）別本…う
しろやすくのどかにかにうしろやすく（陽保）―こ、ろは
へそのとやかにうしろやすく（坂）―うしろやすく（麥阿）、た
まへば―たまひける（坂）

【河内本】ありがたきまでうしろやすくのどかにものしたまへば―

のとやかなにうしろやすくものし給へはさるかたのありかたきも
のに思きこえ給へりさるへき事も（河）

【別本】ありがたきまで―有かたきまで（麥阿）―ナシ（尾）、の
どかにかにうしろやすく（陽保麥阿絵）―こ、ろはへそのとやかにう
しろやすく／こ、\$うし、はへそ\$やすく、や\$、うしろやすく
\$（坂）―うしろやすく（麥阿）―うしろやすくのどかにかに（国）
―のとやかにうしろやすく（尾）、ものし―物し（国麥阿）、たま
へば―給えは（陽国絵）―たまひけるさるかたのありかたきもの
にはおもひきこえ給て／前ひ以下\$えは（坂）―給へは（麥阿）
―たまへはさるかたのありかたきものに思ひきこえたまへりさる
へき事も（尾）

【別本統】ありがたきまで―ナシ（高天）、うしろやすくのどかにか
―のどかにかにうしろやすく（陽）―のとやかにうしろやすく（高天）、
ものし―おはすれは（御）―物し（国肖前天）、たまへば―給え
は（陽）―ナシ（御）―給へは（国肖日伏穗前）―給へはさるか
たのありかたきものに思きこえ給へりさるへき事も（高）―給へ
はさるかたのありかたき物に思きこえ給へりさるへきこととも
（天）

25◆（朝顔②四七二）

「山がつになりて、いたう思ひくづほればべりし年ごろの後、こよ
なく衰へにてはべるものを、内裏の御容貌は、いにしへの世にも並

ぶ人なくやとこそぞ、ありがたく見たてまつりはべれ。……

【大成】青表紙本…内裏の—うちの(大)、御容貌—御かたち(大) —みかたち(三)、ありがたく—ナシ(耕)、見たてまつりはべれ —みたてまつりはへれ(大) 河内本…内裏の—内のうへの(宮)

【別本】内裏の—うちの上の(陽) —上の(國)、こそありがたく —ありがたくこそ(保) —こそ(坂平) —ありがたくやとこそ(國) 河内本…内裏の—内のうへの(宮)

【別本】内裏の—うちの上の—(陽) —うちの(保東) —内の(坂 麦阿尾) —上の(國)、御容貌は—御かたちは(陽保坂麦阿尾)

—おほんかたちは(國) —御かたちは(東)、ありがたく—ありか たくこそ(保東) —ナシ(坂) —ありがたくやとこそ(國) —有 かく(麦阿)、見—み(陽保坂阿)、たてまつり—奉り(麦阿東)

【別本統】内裏の—うちの上の(陽) —うちの(池御河日穗前) —うちの—の(改頁)(肖) —内の(伏天) —内のうへの(高)、 御容貌は—御かたちは(陽池御河日伏穂前高天) —みかたちは (前)、ありがたく—有かくこそ(穗)、ありがたく—く&た(前)、 ありかたく—た(改頁)(天)、見—み(池御河日伏穂前高天)、 たてまつり—奉り(前)、はべれ—侍れ(陽池御日前河天)

26 ◆(少女③二八)

例の大將、左大弁、式部大輔、左中弁などばかりして、御師の大内 記を召して、史記の難き卷々、寮試受けんに、博士のかへさふべき

ふしぶしを引き出て、ひとわたり読ませたてまつりたまふに、至らぬ隈もなくかたがたに通はし読みたまへるさま、爪じるし残らず、あさましきまでありがたければ、さるべきにこそおはしけれと、誰も涙落としたまふ。

【大成】青表紙本…至らぬ隈もなく—いたらぬくもなく(大) —いたらぬくまなく(横平池肖三)、通はし読みたまへる—かよはしよみ給へる(大)、さま—き(さ朱) 大、あさましき—あさましき。肖 河内本…隈もなく—てもなく(河)、通はし—かよはして(大) 別本…至らぬ—みいたらぬ(陽)、隈もなく—てもなく(讚) —てもなく(陽) —くまなく(國麥阿)、かたがたに—かたく—(國)、通はし読み—よみ(陽) —かよひ(國)、あさましきまでありがたければ—あさましうありがたきまでおはすれは(國)

【河内本】隈もなく—てもなく(河)、通はし—かよはして(大) 別本…至らぬ—みいたらぬ/後た\$ら(陽絵) —、隈も—ても(陽尾絵) —てむ(讚) —句も(保) —くま(國麥阿)、かたがたに通はし—かたく—に(陽絵) —かたく—かよひ(國)、読み—よみ(陽讚保麦阿尾絵) —ナシ(國)、あさましきまで—あさましう(國)、ありがたければ—ありかたきまでおはすれは(國) —有かたければ(麦阿)

【別本統】至らぬ—みいたため/後た\$ら(陽) —いたらぬ(池御 肖日伏穂前高天)、隈も—ても(陽御高天) —くま(池肖日前)

―ても／＼〈改頁〉(伏)―何も(穂)、かたがたに通はし―かたかく
に(陽)―かたかくかよはし(池肖日伏穂前高)―かたかくかよ
はし／＼〈改頁〉(御)―かたかくかよはして(天)、読み―よみ(陽
池御肖日伏穂前高天)、たまへる―給へる(陽肖穂前高天)―た
まえる(御)―給える(伏)、あさましきまで―あさましまて／
し+き(肖)―あさましきまで／し〈改頁〉(高)

27◆(少女③三六)

「女御を、けしうはあらず、何ごとも人に劣りては生ひ出でずか
と思ひたまへしかど、思はぬ人におされぬる宿世なん、世は思ひの
外なるものと思ひはべりぬる。この君をだに、いかで思ふさまに見
なしはべらん。春宮の御元服にただ今のことになりぬるをと人知れ
ず思うたまへ心ざしたるを、かう言う幸ひ人の腹の后がねこそ、ま
た追ひすがひぬれ。立ち出でたまへらんに、まして、きしろふ人あ
りがたくや」とうち嘆きたまへば、：

【大成】該当なし

【河内本】該当なし

【別本】ありがたくや―有かたく(麦阿)

【別本続】きしろふ―きしろう(伏)―ましろふ／ま\$き(前)

28◆(少女③六三)

ものきよげにいまめきて、そのものとも見ゆまじうしたてたる様体

などのありがたうをかしげなるを、かうほめらるるなめり。

【大成】青表紙本…見ゆ―みゆ(大)、様体―やうたい(大)河内本…
ものきよげにいまめきて、そのものとも見ゆまじうしたてたる様
体などのありがたうをかしげなるを、かうほめらるるなめり―物
きよげなるをかうはめての、しるなりけり(河)別本…ものき
よげにいまめきて、そのものとも見ゆまじうしたてたる様体など
のありがたうをかしげなる―ものきよげなる(讃陽保)

【河内本】ものきよげにいまめきて、そのものとも見ゆまじうした
てたる様体などのありがたうをかしげなるを、かうほめらるるな
めり―物きよげなるをかうはめての、しるなりける(河)物き
よげなるを―ものいよげなると(とハをカ)(七)

【別本】ものきよげにいまめきて、そのものとも見ゆまじうした
たる様体などのありがたうをかしげなるを―ものきよげなるを
(陽保国尾絵)―物きよげに今めきてその物ともみゆまじうした
てたるさまたいなどの有かたふをかしげなるを(麦)―物きよげ
に今めきてそのものともみゆまじうしたてたるさまひたいなどの
有かたうおかしげなるを(阿)、かう―かくは(陽保国絵)―か
く(讚)―ナシ(麦阿)―かうは(尾)、ほめらるるなめり―ほ
めの、しる也けり(陽国絵)―ほめの、しるなりけり(讚保)―
ほめらる、也けり(麦)―ほめらる、なりけり(阿)―めての、
しるなりけり(尾)

【別本続】ものきよげにいまめきて、そのものとも見ゆまじうした

てたる様体などのありがたうをかしげなるを—ものきよけなるを
(陽穂高天) —ものきよけにいまめきてそのものともみゆましよう
したてたるやうたいなどのありがたうおかしげなるを／〈改頁〉
(池) —物きよけなるを(御伏) —ものきよけにいまめきてその
ものとも見ゆましようしたてたるやうたいなどのありがたうおかし
げなるを(肖) —ものきよけにいまめきてそのものともみゆましよう
したてたるやうたいなどのありがたうをかしげなるを(日) —物
きけにいまめきてその物ともみゆましようしたてたるやうたいなど
のありがたうをかしげなるを／前き+よ(前)

29◆(玉鬘③一一三)

「おほえぬ高きまじらひをして、多くの人をなむ見あつむれど、殿
の上の御容貌に似る人おはせじとなむ年ごろ見たてまつるを、また
生ひ出でたまふ姫君の御さま、いとことわりにめでたくおはします。
かしづきたてまつりたまふさまも、並びなめるに、かうやつれた
まへるさまの、劣りたまふまじく見えたまふは、ありがたうなむ。

【大成】青表紙本…やつれたまへる—やつれ給へる(大)、さま—
御さま(大)、劣りたまふまじく見えたまふ—おとり給ましくみ
え給(大) 別本…さまの—御さまの(大) —さまは(陽)
【河内本】かう—かく(御七宮鳳尾大東野)、ありがたう—ありか
たく(河)

【別本】かう—かく(陽国尾) —ナシ(阿)、やつれ—ナシ(阿)、
たまへる—給へる(陽国麦尾) —給ふへる／ふ\$ (保) —ナシ(阿)、
さまの—さまは(陽国) —さまの／+御(保) —御様の(麦) —
ナシ(阿) —御さまの(尾)、劣り—おとり(陽国麦阿尾) —を
とり(保)、たまふまじく—給ましく(陽保孤高麦阿) —給ふま
しく(尾)、見え—みえ(陽保国)、たまふ—給(陽国麦阿) —給
ふ(尾)、ありがたうなむ—ありかたくなん(陽国麦阿) —あり
かたうなん(保) —有かたくなん(麦)

【別本統】かう—かく(陽御穂高天) —かう／〈改頁〉(池)、たま
へる—給へる(陽御肖穂前高天) —給える(伏)、さまの—さま
は(陽) —御さまの(御伏穂天平) —御さまの／さ||玉鬘(高)、
劣り—おとり(陽池御肖日穂前天) —をとり(伏高平)、たまふ
まじく—給ましく(陽御肖伏穂天平) —給ふましく(前)、見え
—みえ(陽池肖日前高平) —みへ(御伏) —ナシ(穂)、たまふ
は—給は(陽池御肖日伏前天) —ナシ(穂) —給ふは(高)、
ありがたうなむ—ありかたくなん／か〈改頁〉(陽) —ありかた
うなん(池日) —ありかたくなん(御伏天平) —ありかたくなむ
(穂高) —有かたうなん(前)

30◆(玉鬘③一一七)

秋風、谷より遙かに吹き上りていと肌寒きに、ものいとあはれなる
心どもには、よろづ思ひつづけられて、人並々ならむこともありが

たきことと思ひ沈みつるを、この人の物語のついでに、父大臣の御ありさま、腹々の何ともあるまじき御子ども、みなものめかしなしたてたまふを聞けば、かかる下草頼もしくてぞ思しなりぬる。

【大成】青表紙本…人並々一人なみく(大)一人なみく(肖)、こと一事(大)河内本…ことも一事も(大)一人こと(御)、ありがたきこと一かたき身(河)別本…ならむなる(陽)、ありがたきこと一かたき身(陽保)

【河内本】ことも一人こと(御)、ありがたきこと一かたき身と(河)【別本】人並々ならむ一人々なみくなる／々(陽国)一人なみくならん(保阿麦)一人なみくならむ(麦)、こと一事(陽国麦阿尾)、ありがたき一かたき(陽保国尾)一有かたき(麦阿)、こと一身と(陽国尾)一人／＋み(保)一事と(麦阿)

【別本統】人並々ならむ一人々なみくなる／々(陽)一人なみくならん(池前天平)一人なみくならむ(御)一人なみくならむ(肖)一人なみくならむ／後な(改頁)(日)一人なみくならむ(伏)一人なみくならむ(改頁)(穂)一人なみくならん／玉鬘心(高)、こと一事(陽池伏穂高)、ありがたき一かたき(陽御伏高天)一かた(穂)一かたき(改頁)(平)、こと一身(御伏穂高天平)一事(池)

31◆(玉鬘③一二八)

「かの親なりし人は、心なむありがたきまでよかりし。御心もうし

ろやすく思ひきこゆれば」などのたまふ。「つきづきしく……

【大成】該当なし

【河内本】心なむ一人(心)なむ(七)、心なむありがたきまでよかりし。御心もうしろやすく思ひきこゆればなどのたまふつきづきしく一ありかたきまでよ(かりし御心もうしろやすく思ひきこゆればなどの給つき／しく)(大)

【別本】心一人(陽国)、ありがたきまで一有かたき迄(麦)一有かたきまで(阿)

【別本統】心一人(陽池)一ありがたきまで一ありかたかりきまで／かり(伏)一有かたきまで(前)

32◆(玉鬘③一三三)

まして、監が息ざしけはひ、思ひ出づるもゆゆしきこと限りなし。

豊後介の心ばへをありがたきものに君も思し知り、右近も思ひ言ふ。

【大成】青表紙本…豊後介の一人ふんこのすけの(大)一人ふんこのすけか(肖)思し知りおほし、(大)河内本…豊後介の心ばへ一人ふんこのすけの心はへ(大)一人ふんこのすけか心はへ(河)河内本…豊後介の心ばへ一人ふんこのすけか心はへ(河)一人ふんこのすけ(吉)一人豊後介(野)※、思し知りおほしたり(吉)

【別本】豊後介の一人ふんこのすけの(陽国)一人ふんこのすけか(保)一人ふんこのすけの(麦阿)一人ふんこのすけか(尾)、心ばへ一人こ、

ろはへを(陽国)―心はえを(麦)、ありがたき―有かたき(麦阿)、ものに―物に(麦阿尾)、君も―きみも(保尾)、思し知り―おほし、り(陽保国)―おほししり(麦尾)―おもほししり(阿)【別本統】豊後介の―ふこのすけの(陽)―ふんこのすけの(池日)―ふこのすけか(御高平)―ふむこのすけか(肖)―ふんこのすけか(伏)―ふこの介か(穂天)―ふむこのすけの(前)、心ばへ―こ、ろはへ(陽池)―心はえ(穂)、ものに―物に(肖穂前高天)―、君も―きみも(池日高)―君も〓玉(御)―君をも〓を\$(天)―、思し知り―おほし、り(陽穂天平)―おほししり(池御肖日前高)―おほしけり(伏)

33◆(玉鬘③一三三)

大臣の君の御心おきてのこまかにありがたうおほしますこと、いと
かたじけなし。

【大成】青表紙本…大臣の君の御心おきて―おと、の君の御心を
きて(大)、ありがたう―ありかたう(大)―ありかたう(横)

【別本】御心おきて―御心をきて(大)―御心をきて(陽)

【河内本】ありがたう―ありかたう(河)

【別本】大臣の君の―おと、の君の(陽国麦阿)―をと、のきみの

(保)―おと、のきみの(尾)、御心おきての―御をきての(陽

国)―御こ、ろをきての(保)―御こをきての(麦阿尾)、

ありがたう―ありかたう(陽保国尾)―有かたう(麦阿)、おほ

します―をはします(陽保国)、こと―事(陽国麦阿尾)

【別本統】大臣の君の―おと、の君の(陽御肖前天平)―おと、の
きみの(池日高)―をと、の君の(伏穂)、御心おきて―御おき
て(陽)―御こ、ろをきて(池伏穂)―御心をきて(御肖前高天)、
こまかに―こまかに〓に(改頁)〔肖〕、ありがたう―ありかたう
(陽御伏高天平)―ありかたう〓(改頁)〔穂〕―ありかたう(前)、
おほします―をはします(陽)―をはします〓(改頁)〔御〕―
おほします〓ほ\$は(前)、こと―事(陽御肖前高天平)

34◆(玉鬘③一三四)

かかる筋、はた、いとすぐれて、世になき色あひ、にほひを染めつ
けたまへば、ありがたしと思ひきこえたまふ。

【大成】青表紙本…思ひきこえたまふ―思ひ聞え給ふ(大)

【河内本】思ひきこえたまふ―思こへ給(御)※

【別本】ありがたしと―有かたしと(麦阿)、思ひ―おもひ(陽国
尾)―思(保麦阿)、たまふ―給(陽保国麦阿)―給ふ(尾)

【別本統】ありがたしと―ありかたしと〓と(改頁)〔平〕、思ひ―

おもひ〓(改頁)〔陽穂)―おもひ(池日伏高)―思(御天平)、

きこえ―こへ(御)―きこへ(伏)―聞え(前)、たまふ―給(陽

御肖伏穂前天平)

35◆(初音③一四六―一四七)

年月にそへて、御心のへだてもなく、あはれなる御仲らひなり。今はあながちに近やかなる御ありさまもてなしきこえたまはざりけり。いと睦ましく、ありがたからむ妹背の契りばかり聞こえかはしたまふ。

【大成】青表紙本…妹背の契り—いもせのちきり(大)

【河内本】該当なし

【別本】ありがたからむ—有かたからん(麦阿)—ありがたからん(保東尾)、妹背の—いもせの(麦保阿国東尾)、契り—ちきり(陽保阿尾)

【別本統】ありがたからむ—ありかたからん(陽御伏穂前高)—ありかたからむ／ら&り(平)、妹背の—いもせの(陽池御肖日伏穂前高天平)、契り—ちきり(池肖日伏高穂)

36◆(初音③一五四)

かかる方にも、おしなべての人ならず、いとほしく悲しき人の御さまと思せば、あはれに、我だにこそはと御心とどめたまへるもありがたきぞかし。

【大成】青表紙本…御心とどめたまへる—御こ、ろと、め給へる

も—御心をとめ給へる(慈) 河内本…とどめ—とめ(河) 別本…

御心—御心さし(麥阿)

【河内本】とどめ—とめ(宮尾鳳)

【別本】我だにこそはと—われたにこそはと(保国)—我こそはと

／我+たに(東)、とどめ—さしと、め(麦阿)—と、め／△\$と(保)—とめ(尾)、たまへるも—給へるも(麦阿東尾)、ありがたきぞかし—有かたきぞかし(麦阿)

【別本統】我だにこそはと—われたにこそはと(陽御肖日伏高)—我だにこそはと／い&は(前)、御心—御こ、ろ(池御)—御心を(穂)、とどめ—とめ(伏高)、たまへる—給へる(陽池御穂前高平)、ありがたき—ありかたきぞかし／〈改頁〉(御)—ありかたきぞかし／後か〈改頁〉(日)

37◆(胡蝶③一八三)

さるは、心の中にはさしも思はずかし。いかならむをり聞こえ出でむとすらむと、心もとなくあはれなれど、この大臣の御心ばへのいとありがたきを、親と聞こゆとも、もとより見馴れたまはぬはえかうしもこまやかならずやと、昔物語を見たまふにも、やうやう人のありさま、世の中のあるやうを見知りたまへば、いとつつましう心と知られたてまつらむことは難かるべう思す。

【大成】河内本…ありかたきを—ありかたければ(河) 別本…いとありかたきを—いみしう有かたければ(麥阿)

【河内本】いと—いみしう(河)、ありがたきを—ありかたければ(河)

【別本】この—此(麥阿)、大臣—おと、の(麥保阿国東)—をと、の(尾)、御心ばへの—御心はえの(麥東尾)—御こ、ろはへの

(保国)、いとーいみしう(麦阿尾)ー、ありがたきをー有かた
ければ(麦阿)ーありかたければ(尾)

【別本統】この大臣のーこのおと、の(陽池御肖日伏穂前高天平)、
御心ばへのー御心はえの(陽穂)、いとーいみしう(御高天)ー
いみしう／(改頁)(平)、ありがたきをーありかたければ(御高
天平)

38◆(胡蝶③一八七)

「何か、かく疎ましとは思いたる。いとよくもて隠して、人に咎
めらるべくもあらぬ心のほどぞよ。さりげなくてをもて隠したまへ。
浅くも思ひきこえさせぬ心ざしに、また添ふべければ、世にたぐひ
あるまじき心地なんするを。このおとづれきこゆる人々には、思し
おとすべくやはある。いとかう深き心ある人は世にありがたかるべ
ききわざなれば、うしろめたくのみこそ」とのたまふ。

【大成】青表紙本…深きーふかき(大)【河内本】…いとーい(御)

ーナシ(大)【別本】…ありかたかるへきーありかたかへき(保)

【河内本】いとかうーいか、(御)ーかう(大)※、心あるー(心)
ある(御)

【別本】かうーかく(陽麦阿)ー、深きーふかき(陽保麦阿国尾)、
心あるー心あるは／は(保)ーこ、ある(国尾)、世にーよに
(陽保尾)、ありがたかるべきーありかたかへき(保)ー有かた
かるへき(麦阿)

【別本統】いとーいか、(御)ーナシ(天)、かうーかく(陽)ー
ナシ(御)、深きーふかき／か(判読)(陽)ーふかき(池御肖日
伏前高天平)ーふかひ(穂)、心あるーある／+心(御)ーこ、
ろある(高)ー、世にーよに(陽池伏前高天平)ーナシ(穂)、
ありがたかるべきーありかたかるへき／り(改頁)(御高)ーあ
りかたき(穂)、わざなればーわざなれば／は(判読)(陽)

39◆(胡蝶③一八七ー一八八)

常に見たてまつりたまふ御仲なれど、かくよきをりしもありがたけ
れば、言に出でたまへるついでに御ひたぶる心にや、なつかしいほ
どなる御衣どものけはひは、いとよう紛らはしすべしたまひて、近
やかに臥したまへば、いと心憂く、人の思はむこともめづらかに、
いみじうおほゆ。

【大成】青表紙本…をりーおり【河内本】…ありがたければーありか
たかめれば(河)【別本】…ありがたければことにーありかたき事

なればこと(陽)

【河内本】ありがたければーありかたかめれば(河)

【別本】かくーかう(麦阿)、をりーおり(保国尾)ー折(阿)、あ
りがたければーありかたき事なれば(陽)ー有かたければ(麦阿)
ーありかたかめれば(尾)

【別本統】かくーかう(池)ーなし／+かく(前)、をりーおり(池
肖日前高天)、ありがたければーありかたき事なれば(陽)ーあ

りかたかめれば (御高天平)

40◆(蜩③二〇三)

この君は、人の御さまもけ近くいまめきたるにおのづから思ひ忍びがたきに、をりをり人見たてまつりつけば、疑ひ負ひぬべき御もてなしなどはうちまじるわざなれど、ありがたく思返しつつ、さすがる御仲なりけり。

【大成】青表紙本…思返しつつ—おほしかへしつ、(大)河内本…思返しつつ—おほしかへしつ、なん(宮保平大尾) 別本…返しつ—かくしつ、なん(阿)

【河内本】思返しつつ—おほしかへしつ、なん(宮保平大尾岩) 別本】ありがたく—有かたく(阿)、思返しつつ—おほしかへしつ、(陽国絵) —おほしかへしつ、なむ(保) —おもほしかくしつ、なん(阿) —おほしかへしつ、なん(尾)

【別本統】ありがたく—ありかたく／か(改頁)(日) —有かたく(穂)、思返しつつ—おほしかへしつ、(陽池肖日伏前) —おほしかえしつ、(御) —おほし返しつ、(穂) —おほしかへしつ、なん(高天平)

41◆(野分③二六九)

心にかけて恋しと思ふ人の御事はさしかれて、ありつる御面影の忘れられぬを、こはいかにおほゆる心ぞ、あるまじき思ひもこそ添へ、

いと恐ろしきこと、とみづから思ひ紛らはし、他事に思ひ移れど、なほふとおぼえつつ、来し方行く末ありがたくものしたまひけるかな、かかる御仲らひに、いかでか東の御方、さるものの数にて立ち並びたまへらむ、たとしへなかりけりや、あないとほし、とおぼゆ。

【大成】青表紙本…来し方行く末—きしかたゆくすゑ(大)、ものしたまひけるかな—ものし給ひけるかな(大)

【河内本】ありがたくも—ありかたうも(河)

【別本】来し方—きしかた(陽保麦阿国尾)、行く末—ゆくすへ(陽) —ゆくすゑ(保国麦尾) —行すゑ(阿)、ありがたくも—有かたくも(麦阿) —有かたうも(尾)、ものし—物し(保麦阿尾)、たまひけるかな—給ひけるかな(陽麦阿尾) —給ひけるかな(国)

【別本統】来し方—きしかた(陽池肖善日伏前高天) —きしかた／(改頁)(御) —きし方(穂) —ナシ／落丁(平)、行く末—ゆくすへ(陽) —ゆくすゑ(池御善日高) —行すゑ(肖伏穂前天) —ナシ／落丁(平)、ありがたくも—ありかたく(肖善伏) —有かたう(穂) —有かたうも(高) —ありかたうも(天) —ナシ／落丁(平)、ものし—物し(御前高天) —ナシ／落丁(平)、たまひけるかな—給ひけるかな(陽池御肖日伏穂前高) —給ひけるかな(天) —ナシ／落丁(平)

42◆(野分③二六九)

大臣の御心ばへをありがたしと思ひ知りたまふ。人柄のいとまめやかなれば、似げなさを思ひよらねど、さやうならむ人をこそ、同じくは見て明かし暮らさめ、限りあらむ命のほども、いますこしはかならず延びなむかし、と思ひつづけらる。

【大成】青表紙本…大臣の御心ばへ—おと、の御心はへ(大)、思ひ知りたまふ—思ひしり給(大) 別本…御心はへをありがたし—御心はえ有かたく(麥阿)

【別本】大臣の—をと、の—(陽)—おと、の(保国麦阿尾)、御心ばへを—御こ、ろはへを(陽)—御心はえ／え+を(麦)—御心はへ(阿)、ありがたしと—有かたくと／くし(麦)—有かたしと(阿)、思ひ知り—思うしり(陽麦阿国尾)—おもひしり(保)、たまふ—給(陽保麦阿尾)—給ふ(国)

【別本統】大臣の—をと、の(陽伏)—おと、の(池御善日穂前高天)—おと、の／(改頁)(肖)—ナシ／落丁(平)、御心ばへ—御こ、ろはへ(伏)—御心はへえを／(改頁)(池)—御心はえを(御善日穂)—ナシ／落丁(平)、ありがたしと—ナシ／落丁(平)、思ひ知り—思しり／(改頁)(陽)—おもひしり(池肖伏天)—思しり(全日高)—思ひしり聞え(前)—ナシ／落丁(平)、

たまふ—給(陽池御肖伏穂前高天)—給ふ(善)—ナシ／落丁(平)

43◆(行幸③二九九)

「内大臣は、日隔てず参りたまふこと繁からむを、かかるついでに

対面のあらば、いかにうれしからむ。いかで聞こえ知らせんと思ふことのはべるを、さるべきついでなくては対面もありがたければ、おぼつかなくてなむ」と聞こえたまふ。

【大成】青表紙本…対面—たいめん(大)—たいめ(横) 河内本…該当なし

【別本】対面—たいめむ(陽保)—たいめ(麦)—たいめん(阿尾)—たいめん(国)、ありがたければ—有かたければ(麦)

【別本統】対面—たいめ(陽肖穂高平)—たいめむ(池)—たいめん(御日前天)、ありがたければ—有かたければ(穂)

44◆(行幸③三二一)

十六日、彼岸のはじめにて、いとよき日なりけり。近うまたよき日なしと勘へ申しける中に、宮よろしうおはしませば、いそぎ立ちたまうて、例の渡りたまうても、大臣に申しあらはしさまなど、いとこまかに、あべきことども教へきこえたまへば、あはれなる御心は、親と聞こえながらもありがたからむをと思すものから、いとなむうれしかりける。

【大成】青表紙本…御心は—御心をは(横)、思すものから—おほす物から(大) 河内本…御心は—御心の(七宮鳳尾)、ありかたからむと—ありかたからむこと、(河) 別本…御心は—御心の(陽保)、ありかたからむを—ありかたからん(陽)—ありかたからんこと(保)、

【河内本】ありがたからむをと―ありかたからむこと、(河)―ありかたからん(こと)と(大)

【別本】あはれなる―ナシ(麦)―哀なる(阿)、御心は―御心の

(陽保尾)―ナシ(麦)、親と―をやと(陽保)―ナシ(麦)―

おやと(阿国東尾)、聞こえながらも―きこえながら(陽保尾)

―ナシ(麦)―聞えながらも(阿)―きこえながら(国東)、

ありがたからむをと―ありかたからんと(陽)―ありかたからん

こと、(保尾)―ナシ(麦)―ありかたからんをと(阿国)―有

難か覽をと(東)、思すものから―おほすものから(陽保国)―

ナシ(麦)―おほす物から(阿東)

【別本統】あはれなる―哀なる／＼玉ノ心(肖)―あはれなり(穂)

―あわれなる(天)、御心―御こ、ろ(日伏)、親と―をやと(日)

―おやと(池御肖伏前高天平)―おやと／＼(改頁)(穂)、聞こ

えながらも―きこえながら／＼(改頁)(陽)―きこえながらも

(池御日伏前平)―聞えながらも(肖)―きこえながら(高天)、

ありがたからむをと―ありかたからんと(陽)―ありかたからん

をと(池御肖伏前平)―ありかたからんこと、(高)―ありかた

くからんこと、／＼(改頁)(天)、思すものから―おほすものから

(陽池日伏平)―おほす物から(御肖穂前高天)

45◆(行幸③三一一)

されど、あるまじう、ねぢけたるべきほどなりけりと思ひ返すこと

こそは、ありがたきまめしきなめれ。

【大成】青表紙本…なめれ―なめり(池)―なれ(肖)

【河内本】なめれ―なめれ(宮大鳳尾中岩)

【別本】ありがたき―ナシ(麦)―有かたき(阿)、まめまめしき

なめれ―まめ／＼しきなれ(阿東)―まめ／＼しきなめれ(尾)

【別本統】ありがたき―有かたき(穂)、まめまめしきなめれ―ま

め／＼しきなめり(池)―まめ／＼しきなれ(肖)―まめ／＼し

きなめれ(高天)

46◆(行幸③三一九)

(内大臣)「ただ御もてなしになん従ひはべるべき。かうまで御覽

ぜられ、ありがたき御はぐくみに隠るへはべりけるも、前に世の契

おろかならじ」と申したまふ。

【大成】該当なし

【河内本】該当なし

【別本】ありがたき―有かたき(麦)

【別本統】ありがたき―ありかたき／＼(改頁)(陽)―ありかた

き／＼(改頁)(日)―有かたき(穂)、御はぐくみに―御△に(伏)

47◆(真木柱③三五一)

三日の夜の御消息ども、聞こえかしたまひける気色を伝へ聞きたまひてなむ、この大臣の君の御心を、あはれにかたじけなくあり

たしと思ひきこえたまひける。

【大成】青表紙本…この大臣の君の—おと、のきみ(大)、あはれにかたじけなく—かたしけなくありかたしとは(大)、思ひ—おもひ(大)、たまひける—給ける(大) 河内本…この—ナシ(河)

【別本】…この—ナシ(別)、あはれにかたじけなく—かたしけなしと(麥阿)、思ひきこえ—思きこえはて(長阿)—思聞えいて(麥)、給ける—給ひてける(陽)

【河内本】この—ナシ(河)、御心を—御心(を)(岩)

【別本】この大臣の君の—おと、の君の(陽阿)—おと、のきみの(保善尾)—おと、の君の／+此(朱)(麥)—このおと、の君の(国)、御心を—御こ、ろを(陽)、あはれに—哀に(麥阿)、かたじけなく—かたしけなしと(麥阿)—かたしけなう(善)、ありがたしとは—ナシ(麥阿)、思ひ—おもひ(陽保国尾)—思(麥阿善)、きこえ—聞え(麥)—聞えはて(阿)—きこえはて(善)、たまひける—給ひてける(陽)—いて給ける(麥)—給ける(阿国)—給ひける(尾)

【別本統】この大臣の君の—おと、の君の(陽天)—このをととのきみの／を(朱合点)(池)—このをと、の君の(御)—此おと、の君の／君—源氏(肖)—このおと、のきみの(日伏)—このおと、の君の(前)—おと、のきみの／—源氏(高)—ナシ／落丁(平)、御心を—御こ、ろを(陽)—ナシ／落丁(平)、あはれに—哀に(肖)—ナシ／落丁(平)、かたじけなく—かたしけなく

／し(改頁)(池)—ナシ／落丁(平)、ありがたしとは—有かたしとは(前)—ナシ／落丁(平)、思ひ—おもひ(陽肖日高天)—思(伏穂)—ナシ／落丁(平)、きこえ—きこえ／(改頁)(御)—きこえ／(改頁)(肖)—きこへ(穂)—聞え(前)—ナシ／落丁(平)、たまひける—給ひてける(陽)—給ける(御肖伏)—給ひける(前天)—ナシ／落丁(平)

48◆(真木柱③三五一)

かう忍びたまふ御仲らひのことなれど、おのづから、人のをかしきことに語り伝へつつ、次々に聞き漏らしつつ、ありがたき世語にぞささめきける。

【大成】青表紙本…世語—よかたり(大)

【河内本】該当なし

【別本】ありがたき—有かたき(麥阿)、世語—世かたり(陽阿国)—よかたり(保麦尾善)

【別本統】ありがたき—ナシ／落丁(平)、世語—世かたり(穂)—よかたり(池御肖日前高天)—ナシ／落丁(平)

49◆(真木柱③三五七)

(前略)めづらしう心移る方の、なのめだにあらざ、人にすぐれたまへる御ありさまよりも、かの疑ひおきて皆人の推しはかりしことさへ、心清くて過ぐいたまひけるなどを、ありがたうあはれと思ひ

増しきこえたまふもことわりになむ。

【大成】青表紙本…疑ひおきて—うたかひをきて(大)、皆人—みな人(大)、推し—おし(大)、心清くて—心きよくて(大)—心よくて(御)、過ぐいたまひける—すくい給ける(大)、ありがたう—有かたう(大)、思ひ増しきこえ—思ましきこえ(大)—思ましきにえきこえ(御)—思ましきにえきこえ(池)河内本…など—ナシ(宮鳳尾)、思ひ増し—おもひなし(七)別本…皆人—人(長)—みる人(麥阿)、推しはかりしこと—おしはかり事(長麥阿)、たまひける—たまへりける(陽)、などを—をなど(麥阿)、ありがたう—ナシ(長)、あはれと—あはれに(陽長)、思ひ増し—申(陽)—思(長)

【河内本】過ぐいたまひける—す—い給ける(平)、など—なし(宮鳳尾)、思ひ増し—おもひなし(七岩)

【別本】かの—ナシ／+かの(朱)(麥)—いと、(阿)、疑ひおきて—うたかひをきて(陽善尾)—うたかひおきて(保国)—物うたかひをきて(麥阿)、皆人の—みな人の(陽保国尾)—みる人の(麥阿)—人の(善)、推しはかりし—をしはかりし(陽国尾)—おしはかり／り+し(保)、おしはかり(麥)—をしはかり(阿善)、ことさへ—事さへ(陽麥善)、心清くて—こ、ろきよくて(陽国善)—心きよくて(保麥阿尾)、過ぐい—すくい(陽尾)—すくし(保麥阿善)—すくひ(国)、たまひけるなどを—たまへりけるなどを—るトなノ間ニ空白三文字分(陽)—給けるをなど(麥

阿)—給けるなどを(国)—給けるを—る+など(善)—給ひけるを(尾)、ありがたう—たく(陽保阿)—有かたく／く\$う(朱)(麥)—ナシ(善)、あはれと—あはれに(陽善)—哀れと(麥阿)、思ひ増し—申(陽)—おもひまし(保尾)—思まし(麥阿)—思ひまし(国)—思しき／しき\$申(善)、きこえ—聞え(麥阿)、たまふ—給(陽麥阿国善尾)

【別本統】かの—かの／の\$源氏と玉かつらのあいた(池)、疑ひおきて—うたかひをきて(陽御肖穂前高天平)—うたかひをきて／(朱合点)(池)—うたかひおきて(日伏)、皆人の—みな人の(陽池御肖日伏前高天平)—みな人の／(改頁)(穂)、推しはかりし—をしはかりし(陽池御肖日穂前高天平)—おしはかりし(御伏)、ことさへ—事さへ(陽前高)—ことさえ(池平)、心清くて—こ、ろきよくて(陽伏)—心きよくて(池肖日穂前高天平)—心よくて(御)、過ぐい—すくい(陽池御肖伏穂天)—すくひ(日前高)—すい／すく(平)、(池)—思ましきにえ(御)—思まし(肖伏穂)—おもひまし(日前高天平)、きこえ—聞え(前)、たまふも—給も(陽池御肖日伏前高)—給ふも(天平)

※この用例においては「ありがたし」が「あはれ」を対象としていると捉えることもできるが、本稿では接続語として捉える場合を示した。

50 ◆(真木柱③三九三)

身をうきものに思ひしみたまいて、かやうのすさびごとをもあいに
なく思しければ、心とけたる御答へも聞こえたまはず。なほ、かの
ありがたかりし御心おきてを、方々につけて思ひしみたまへる御事
ぞ、忘れざりける。

【大成】青表紙本…御心おきて—御心をきて（大御）別本…御心
おきて—御心をきて（長麥阿）

【河内本】該当なし

【別本】かの—ナシ（善）、ありがたかりし—有かたかりし（麥阿）
—おり／＼にありかたかりし（善）、御心おきてを—御こ、ろを
きてを（陽）—御心をきてを（保国尾）御をきて／御＋心（朱）、
て＋を（朱）（麥）—御心をきて（阿）—御心をきても（善）

【別本統】かの—かの／＼源ノコト（肖）、御心おきて—御こ、ろ
をきて（陽）—御心をきて（池御肖日穂前高平）—御こ、おきて
（伏）—御心をおきて（天）

51◆（梅枝③四二二）

よろづにめづらかなる御宝物ども、他の朝廷までありがたげなる中
に、この本どもなん、ゆかしと心動きたまふ若人世に多かりける。

【大成】青表紙本…御宝物ども—御たからものとも（大）、他の朝
廷—人のみかと（大）、中に—なかに（大）河内本…めづらかな
る御宝物ども、他の朝廷までありがたげなる中に—めづらか□（焼
失）るなかに（鳳）別本…御宝物ども—御たから（麥）—御か

たはら（阿）

【河内本】御宝物ども他の朝廷までありがたげな—ナシ（鳳）

【別本】よろづに—方に（阿）、御宝物ども—おほんたからものと
も（陽）—御たから物とも（保国三）—御たから（麥）—御かた
はら（阿）—御たからものとも（尾）、他の—ひとの（陽）—人
の（保麦阿国三尾）、朝廷まで—みかとまで（陽保麦阿国三尾）、
ありがたげなる—ありかたげなる／＼り&る（陽）—有かたげなる
（麥）、中に—中に／＼し&中に（陽）—なかに（尾）

【別本統】御宝物ども—おほんたからものとも／と（改頁）（陽）
—御たから物とも（池御肖伏穂前天平）—御たからの（甲）—御
たからものとも（日高）、他の—ひとの（陽）—一人の（池御肖日
伏穂前高天平）—一人（甲）、朝廷まで—みかとまで（陽池御日
高天）—みかとにきての（甲）—みかとまで／て（改頁）（肖）
—御門まで（伏）—みかと（穂）—御かとまで（平）、ありがた
げなる—ありかたげなる／＼り&る（陽）—有かたげなる（御甲）、
中に—中に／＼し&中に（陽）—なかに（池御肖日穂前高天）—な
かも（平）

52◆（藤裏葉③四四五）

負けぬ方の口惜しさはなほ思せど、罪も残るまじうぞ、まめやか
なる御心さまなどの、年ごろ異心なくて過ぐしたまへるなどを、あ
りがたく思しゆるす。

【大成】青表紙本…年ごろ異心―としころこと心(大)、なくて―
なく(横)、過ぐし―すくし(大)、ありかたたく―ありかたう(肖)、
思しゆるす―おほしゆるす(大) 河内本…御心さま―御さま(宮)、
たまへるなどを―給へるを(七大) 別本…御心さま―心さま(國)、
年ごろ―とし比も(麥阿)、異心なくて―事くもなくて(保)―
心なかくて(麥阿)、過ぐし―ねんしすくし(陽國麥阿)、たまへ
るなどをありがたく―たるなどはありかたきに(國)

【河内本】御心さま―御さま(宮)、たまへるなどを―給へるを(七
大)、ありがたく―ありかたう(青)

【別本】御心さまなどの―心さまなどの(國)、年ごろ―としころ
(陽保國尾)、異心―こと心(陽)―事々も(保)―事こ、ろ(國)
―心(麥阿)―ことこ、ろ(尾)、なくて―なかくて(麥阿)、過
ぐし―ねんしすくし(陽麥阿)―すくし(保尾)―ねんしすくし
たるとは(國)、たまへるなどを―給へるなどを(陽保麥阿)―
ナシ(國)、ありがたく―ありかたきに(國)―有かたく(麥阿)、
思しゆるす―おほしゆるす(陽保尾)―おほしゆるす(國麥阿)

53 ◆ (藤裏葉③四五八)

紅葉の盛りにて、興あるべきたびの行幸なるに、朱雀院にも御消息
ありて、院さへ渡りおはしますべければ、世にめづらしくありがた
きことにて、世人も心をおどろかす。

【大成】青表紙本…ありがたき―有難き(大)

【河内本】めづらしく―めづらしう(青)

【別本】世に―よに(陽保國麥阿尾)、めづらしく―めづらしう(國)、
ありがたき―有かたき(麥阿)、こと―事(國麥阿尾)

54 ◆ (若葉上④二五)

女房などは、のぞきて見きこえて、「いとありがたくも見えたまふ
容貌、用意かな。あなめでた」など集まりて聞こゆるを、老いしら
へるは、「いで、さりとて、かの院のかばかりにおはせし御ありさ
まには、えなずらひきこえたまはざめり。いと目もあやにこそきよ
らにものしたまひしか」など、言ひしろふを聞こしめして、(後略)

【大成】青表紙本…見えたまふ―みえ給(大)、容貌―かたち(大)、
用意―よい(大) 別本…見えたまふ容貌、用意かな―みゆる
かたちかな(阿)

【河内本】該当なし

【別本】ありがたくも―有かたくも(阿國)、見え―みえ(保國尾)
―みゆる(阿中)、たまふ―給(保國尾)―ナシ(阿中)、容貌―
かたち(保國尾)―かたちかなと(阿中)、用意かな―よい(阿
中)―ナシ(阿中)―ようゐかな(國)

55 ◆ (若葉上④二六)

「まことに、かれはいとさまことなりし人ぞかし。今はまた、その
世にもねびまさりて、光るとはこれを言ふべきにやと見ゆるにほひ

なむ、いとど加はりにたる。うるはしだちて、はかばかしき方に見れば、いつくしくあざやかに目も及ばぬ心地するを、またうちとけて、戯れ言をも言ひ乱れ遊べば、その方につけては、似るものなく愛敬つき、なつかしくうつくしきことの並びなきこそ、世にありがたけれ。……

【大成】該当なし

【河内本】該当なし

【別本】世によに（保国尾）——いと（阿中）、ありがたけれ——有かたけれ（阿国）

56◆（若菜④二七）

「六条の大殿の、式部卿の親王のむすめ生ほしたてけむやうに、この宮を預かりてはぐくまむ人もがな。ただ人の中にはありがたし、内裏には中宮さぶらひたまふ、次々の女御たちとても、いとやむごとなきかぎりものせらるるに、はかばかし後見なくて、さやうのまじらひいとなかなかからむ。この権中納言の朝臣の独りありつるほどに、うちかすめてこそ心みるべけれ。若けれど、いと警策に、生ひ先頼もしげなる人にこそあめるを」とのたまはず。

【大成】青表紙本…預かりて—あつかかりて（大）、中には—なかに（御陽肖三）、ありがたし—ありかたしと（御）別本…おの宮を預かりて—此君を（阿）、ただ人の—た、人との（阿）、ありがたし—いと有かたし（阿）

【河内本】中には—なかに（鳳兼）

【別本】この—此（阿中）、宮を—君を（阿中）—みやを（尾）、預かりて—あつかかりて（保国尾）—ナシ（阿中）、はぐくまむ—はく、まん（阿中尾）、人もがな—ひともかな（尾）、ただ人の—た、人との（阿）—た、ひとの（尾）、ありがたし—いと有かたし（阿）、いとありかたし（中）

57◆（若菜上④三一）

乳母、また事のついでに、「しかじかなむ、なにがしの朝臣にほめかしはべしかば、かの院にはかならずうけひき申させたまひてむ、年ごろの御本意かなひて思しぬべきことなるを、こなたの御ゆるしまことにありぬべくは伝えきこえむ、となむ申しはべりしをいかなるべきことにははべらむ。ほどほどにつけて、人の際々思しわきまへつつ、ありがたき御心さまにもものしたまふなれど、ただ人だに、またかかづらひ思ふ人立ち並びたることは、人の飽かぬことにしはべめるを、めざましきこともやはべらむ。……

【大成】青表紙本…ものしたまふ—物し給なれ（大）別本…御心さまに—御心さまには（保）—御心には（阿）河内本…該当なし
【別本】ありがたき—有かたき（阿国）—、御心さまに—御心さまには（保）—御心には（阿中）—御こ、ろさまに（尾）、ものし—物し（阿中尾）、たまふ—給（保阿中国尾）

58 ◆ (若菜上④四二)

年も暮れぬ。朱雀院には、御心地なほおこたるさまにもおはしまさねば、よろづあはただしく思し立ちて、御裳着のこと思しいそぐさま、来し方行く先ありがたげなるまでいつくしくのしる。

【大成】青表紙本…来し方行く先―きしかた行きき(大) 別本…いつくしく―□(空白)つくし□(空白)(保)―いかめしう(阿)

【河内本】該当なし

【別本】来し方―きしかた(保阿中国尾)、行く先―ゆくさき(保尾)―行きき(阿中国)、ありがたげなるまで―有かたけなるまで(阿国)、いつくしく―つくし(保)―いかめしう(阿中)―いつくしく(国尾)

59 ◆ (若菜上④六一)

尚侍の君も、実の親をばさるべき契りばかりに思ひきこえたまひて、ありがたくこまかなりし御心ばえを、年月にそへて、かく世に住みはてたまふにつけても、おろかならず思ひきこえたまひけり。

【大成】別本…こまかなりし…こまやかなりし(別)

【河内本】該当なし

【別本】ありがたく―有かたく(阿国)、こまかなりし―こまやかなりし(保阿中)、御心ばえ―御心はへ(保阿尾)

60 ◆ (若菜上④六三)

三日がほど、かの院よりも、主の院方よりも、いかめしくめづらしきみやびを尽くしたまふ。げに、かかるにつけて、こよなく人に劣り消たるることもあるまじけれど、また並ぶ人なくならひたまひて、はなやかに生ひ先遠く悔りにくきはひにて移ろひたまへるに、なまはしたなく思さるれど、つれなくのみもてなして、御渡りのほども、もろ心にはかなきこともし出でたまひて、いとらうたげなる御ありさまを、いとどありがたしと思ひきこえたまふ。

【大成】青表紙本…いとど―いと、(大)、思ひきこえたまふ―思きこえ給(大) 別本…いとど―いと(阿)

【河内本】いとど―ナシ(大)

【別本】御ありさま―御有さま(阿国)、いとど―いと(阿中)、ありがたし―有かたしと(阿)―ありかたきと(中)思ひ―思(保阿中国)―おもひ(尾)、きこえ―聞え(阿中)

61 ◆ (若菜上④七四)

昔の心ならましかば、うたて心劣りせましを、いまは、世の中を、みなさまざまに思ひなだらめて、とあるもかかるも、際離るることは難きものなりけり、とりどりにこそ多うはありけれ、よその思ひはいとあらまほしきほどなりかし、と思すに、さし並び目離れず見たてまつりたまへる年ごろよりも、対の上の御ありさまぞなほありがたく、我ながらも生ほしたてけりと思す。

【大成】青表紙本…対の上—たいのうへ（大）、御ありさまぞ—御ありさまにこそ（横）、なほ—なを（大）
【別本】…御ありさまぞ—御有さま（阿）

【河内本】該当なし

【別本】対の上の—たいのうゑの（保）—たいの上の（阿中）—たいのうへの（国尾）、御ありさまぞ—御有さま（阿）—御ありさま（中）—御有さまぞ（国）、なほ—なを（保中国尾）—猶（阿）、
あありがたく—有かたうも（阿）—ありがたうも（中）—有かた
く（国）

62◆（若菜上④八六）

桐壺の御方は、うちほへえまかだたまはず。御暇のありがたければ、
心やすくならひたまへる若き御心地に、いと苦しくのみ思したり。

【大成】青表紙本…御暇の—御いとまの—御いとまの（陽）
【別本】…御いとま—いとま（保）

【河内本】該当なし

【別本】御暇の—いとまの（保）—御いとまの（阿中国尾）、
ありがたければ—有かたければ（阿国）

63◆（若菜上④八九）

院、渡りたまひて、宮、女御の君などの御さまどもを、うつくしう
もあはするかなとさまさま見たてまつりたまへる御目うつしには、

年ごろ目馴れたまへる人の、おほろけならんがいとかく驚かるべき
にもああらぬを、なほたくひなくこそはと見たまふ。ありがたきこ
となりかし。

【大成】こと—事（大）

【河内本】該当なし

【別本】ありがたき—有かたき（阿国）、こと—事（阿中）

64◆（若菜上④九〇）

ことに触れて、心苦しき御気色の、下にはおのづから漏りつつ見ゆ
るを事なく消ちたまへるも、ありがたくあはれに思さる。今宵は、
いづ方にも御暇ありぬべければ、かの忍び所に、いとわりなくて出
でたまひにけり。いとあるまじきことと、いみじく思し返すにもか
なほざりけり。

【大成】青表紙本…触れて—ふれて（大）、心苦しき御気色の—心
くるしき御けしきの（大）、下には—したには（大）、漏りつつ見
ゆる—もりつ、みゆる（大）、事なく消ちたまへる—ことなくけ
ち給へる（大）
【別本】…触れて心苦しき—ふれつ、心くるしけな
る（阿）、下には—しるきは（阿）、たまへるも—給へるを（阿）、
あはれに—ナシ（別）

【河内本】ことに—ことも（焼失ニカカル誤写カ）（鳳）

【別本】ありがたくあはれに—ありがたくく+あはれに（保）—
ありがたく（阿中）—有かたくあはれに（国）、思さる—おほさ

る(保国尾)―おもほさる(阿中)

65◆(若菜上④九七)

ありがたき御はぐくみを思し知りながら、何ごとにつけてかは深き御心ざしをもあらはし御覽せさせたまはむとて、父宮、母御息所のおはせまし御ための心ざしをもとり添へ思すに、かくあながちにおほやけにも聞こえ返させたまへば、事ども多くとどめさせたまひつ。

【大成】該当なし

【河内本】該当なし

【別本】ありがたき―有かたき(阿国)

66◆(若菜上④一二三)

対の上の御心、おろかに思ひきこえさせたまふな。いとありがたくものしたまふ深き御気色を見れば、身にはこよなくまさりて長き御世にもあらなむ、とぞ思ひはべる。もとより、御身に添ひきこえさせむにつけても、つつましき身のほどにはべれば、譲りきこえそめはべりにしを、いとかうしもおしたまはじとなむ、年ごろは、なほ世の常に思うたまへわたりはべりつる。

【大成】青表紙本…ものしたまふ―ものし給(大)、深き―ふかき

(大)―ふかく(き)(肖)、御気色―御けしき(大)

【別本】御気色―御心(阿)

【河内本】該当なし

【別本】ありがたく―有かたき(阿国)、ものし―物し(阿中尾)、

たまふ―給(阿中国)、深き―、かき(ふかき)(保)―ふかき(阿中国尾)、御気色―御けしき(保尾)―御心(阿中)

67◆(若菜上④一二八)

かの先祖の大臣は、いと賢くありがたき心ざしを尽くして朝廷に仕うまつりたまひけるほどに、ものの違ひ目ありて、その報いにかく末はなきなりなど人言ふめりしを、女子の方につけたれど、かくていと嗣なしといふべきにはあらぬも、そこらの行ひの験にこそはあらめ」など、涙おし拭ひたまひつつ、この夢のわたりに目とどめたまふ。

【大成】青表紙本…賢く―かしこく

【河内本】該当なし

【別本】賢く―かしこく(保阿中国尾)、ありがたき―有かたき(阿国)―ありかたく／＼き(中)

68◆(若菜上④一三〇)

みなおのおの得たる方ありて、わが後見に思ひ、まめまめしく選ひ思はむには、ありがたきわざになむ。ただまことに心の癖なくよきことは、この対の上をのみなむ、これをぞおいらかなる人と言ふべかりける、となむ思ひはべる。よしとて、また、あまりひたたけて頼もしげなきも、いと口惜しや」とばかりのたまふに、かたへの人

や思ひやられぬかし。

【大成】青表紙本…おのおの得たる方—をのく、えたるかた(大)、わが後見に思ひ—とる所なくもあらねと又とりたて、我うしろみに思ひ(大)、思はむ—思はん(大)【別本】…とりたててわが後見に思ひ—とりたててわか心に(阿)、思はむには—思はん(阿)【河内本】わが後見に思ひ—とり所なくもあらねと又とりたて、我うしろみに思ひ(岩)

【別本】おのおの—をのく(保阿尾)、得たる方ありて—えたるかたありて(保阿中国尾)、わが後見に思ひ—とることなくもあらねと又とりたて、わかうしろみにおもひ(保尾)—とる所なきにもあらねと又とりたてわか心に(阿)—とり所なきにもあらねと又とりたて、我うしろみに思ひ(国)、まめまめしく—まめくし(阿中)、選び—えらひ(保阿国尾)—ゑらひ(中)、思はむには—おもはむには(保)—思はん(阿)—おもはん(中)【別本】—思はん(国)—おもはん(尾)、ありがたき—有かたき(阿国)

69◆(若菜上④一三一)

そこにこそ、すこしものの心得てものしたまふめるを、いとよし、睦びかはして、この御後見をも同じ心にてものしたまへ」など、忍びやかにのたまふ。「のたまはせねど、いとありがたき御気色を見

たてまつるままに、明け暮れの言ぐさに聞こえはべる。

【大成】青表紙本…御気色—御けしき(大)【河内本】該当なし【別本】ありがたき—有かたき(阿国)、御気色—御けしき(保阿)【大成】(若菜上④一三四)

かやうのことを、大将の君も、げにこそありがたき世なりけれ、紫の御用意、景色の、こちらの年経ぬれど、ともかくも漏り出で、見え聞こえたる所なく、しづやかなるを本として、さすがに心うつくしう、人をも消たず身をもやむごとなく、心にくくもてなしそへたまへることと、見し面影も忘れがたくのみなむ思ひ出でられる。

【大成】該当なし【河内本】該当なし【別本】ありがたき—有かたき(阿国)、世—よ(中尾)【大成】(若菜④一四六)

「いで、あなかま、たまへ。みな聞きてはべり。いといとほしげなるをりをりあなるをや。さるは、世におしなべたらぬ人の御おぼえを。ありがたきわざなりや」といとほしがる。

【大成】該当なし【河内本】わざなりや—わざなるや(岩)

【別本】ありがたき―有かたき（阿国）、わざなりやと―わさかなりやと／か\$（保）

72◆（若菜下④一八二）

女御の君にも、対の上にも、琴は習はしたてまつりたまはざりければ、このをり、をさをさ耳馴れぬ手ども弾きたまふらんをゆかしと思して、女御も、わざとありがたき御暇を、ただしばしと聞こえたまひてまかでたまへり。

【大成】青表紙本…御暇―御いとま（大）

【河内本】該当なし

【別本】ありがたき―有かたき（阿）、御暇―御いとま（保阿中国尾）

73◆（若菜下④一九〇）

深き御勞のほど、あらはに聞こえておもしろきに、大殿御心落ちゐて、いとありがたく思ひきこえたまふ。

【大成】青表紙本…思ひきこえたまふ―おもひきこえ給（大）

【河内本】該当なし

【別本】ありがたく―有かたき（阿）、思ひ―思（保阿中国尾）、きこえ―聞え（阿中）―たまふ―給（保阿中国）

74◆（若菜下④一九三）

高麗の青地の錦の端さしたる褥に、まほにもゐで、琵琶をうち置き、ただけしきばかり弾きかけて、たをやかにつかひなしたる撥のもてなし、音を聞くよりも、またありがたくなつかしくて、五月まつ花橋、花も実も具して押し折れるかをりおほゆ。

【大成】青表紙本…ばかり―許（大）、弾きかけて―ひきかけて（大）、撥―はち（大）、また―又（大）―ナシ（榊）

【河内本】該当なし

【別本】けしき―気しき（阿中）、弾き―ひき（保阿中国尾）、たをやかに―たをやかにたをやかに／前たをやかに\$（保）―たおやかに（尾）、つかひなしたる―つかひなしたる／△&た（保）、撥―はち（保阿中国尾）、また―又（保阿中国尾）、なつかしくて―なつかしうて（阿）

75◆（若菜下④一九八）

かく限りなきものにて、そのままに習ひとりたる人のありがたく、世の末なればにや、いづこのその昔の片はしにかはあらむ。

【大成】青表紙本…習ひとりたる―ならひとる（大）―ならひた

（と）る（横）河内本…習ひとりたる―ならひとる（平國）別本…

習ひとりたる人の―ならへる人も（阿）

【河内本】習ひとりたる―ならひとる（平國）

【別本】ままに―まゝに（保阿中国）、習ひとりたる―ならひとる（保尾）―ならへる（阿中）―ならひたる（国）、人の―人も（阿）

(中)、ありがたく―有かたく成行(阿)―ありかたく成行(中)

76◆(若菜下④二〇三)

すこし吹き鳴らしたまへば、みな立ち出でたまふほどに、大将立ちとまりたまひて、御子の持ちたまへる笛をとりて、いみじくおもしろく吹きたてたまへるが、いとめでたく聞こゆれば、いづれもいづれも、みな、御手を離れぬものの伝へ伝へ、いと二なくのみあるにてぞ、わが御才のほどありがたく思し知られける。

【大成】青表紙本…わが御才のほど―わか御さえの程(大)、思し知られける―おほししられける(大) 【別本】…程ありがたく―ほどは(阿)

【河内本】わが御才―わり御さえ(国)―わか御まへ(兼)、ほど―程―も一吉

【別本】わが―我(保)、御才の―御さえの(保阿国尾)―御さへ(中)、ほど―ほどは(阿中)―程(国)、ありがたく―ナシ(阿中)、思し知られける―おほししられける(保国尾)―おもほししられける(阿中)

77◆(若菜下④二〇四)

「昔、世づかぬほどをあつかひ思ひしさま、その世には暇もありがたくて、心のどかにとりわき教へきこゆることなどもなく、……

【大成】青表紙本…暇―いとま(大) 【別本】…ありがたくて―なく

(阿)

【河内本】ありがたくて―かたくて(吉)

【別本】暇―いとま(保阿中国尾)、ありがたくて―なく(阿中)―ありかたくて／し&く(国)

78◆(若菜下④二〇五)

かやうの筋も、今は、また、おとなおとなしく、宮たちの御あつかひなどとりもちてしたまふさまも、至らぬことなく、すべて何ごとにつけても、もどかしくたどたどしきことまじらず、ありがたき人の御ありさまなれば、いとかく具しぬる人は世に久しからぬ例もあるをと、ゆゆしきまで思ひきこえたまふ。

【大成】該当なし

【河内本】該当なし

【別本】ありがたき―有かたき(阿)

79◆(若菜下④二一一)

さばかり、めざましと心おきたまへりし人を、今は、かくゆるして見えかはしなどしたまふも、女御の御ための真心なるあまりぞかしく思すに、いとありがたければ、……

【大成】該当なし

【河内本】該当なし

【別本】いと―ナシ(阿中)、ありがたければ―有かたければ(阿)

80◆(若菜下④二一六)

「ゆゆしく。かくな思しそ。さりとも、けしうはものしたまはじ。心によりなむ、人はともかくもある。おきて広き器ものには、幸ひもそれに従ひ、狭き心ある人は、さるべきにて、高き身となりても、ゆたかにゆるるる方は後れ、急なる人は久しく常ならず、心ぬるくなだらかなる人は、長き例なむ多かりける」など、仏神にもこの御心ばせのありがたく罪軽きさまを申しあきらめさせたまふ。

【大成】青表紙本…御心はせ—心はせ(横池陽)、罪軽き—つみかろき(大) 河内本…御心ばせ—心はせ(國) 別本…軽きさま—かるき事そのさま(阿)

【河内本】御心ばせ—心はせ(國)、ありがたく—ありかたき(く)(岩)

【別本】御心ばせ—心はせ(國)、罪—つみ(保阿中国尾)、軽き—かるき(保国尾) —かるき事その(阿中)

81◆(若菜下④・二二〇)

「今はよし。過ぎにし方をば聞こえじや。ただ、かくありがたきものの際に、け近きほどにて、この心の中に思ふことのはしすこし聞こえさせつべくたばかりたまへ。おほけなき心は、すべて、見たまへ、いと恐ろしければ、思ひ離れてはべり」とのたまへば、……

【大成】青表紙本…ものの際—もの、ひま(大) 別本…もの—

ナシ(阿)

【河内本】該当なし

【別本】ありがたき—有かたき(阿)、もの—ナシ(阿中) —物の(國)、隙—ひま(保阿中国尾)

82◆(若菜下④二二七)

明けゆくけしきなるに、出でむ方なくなかなかなり。(柏木)「いか
がはしはべるべき。いみじく憎ませたまへば、また聞こえさせむこ
ともありがたきを、ただ、一言御声を聞かせたまへ」と、よろづに
聞こえ悩ますも、うるさくわびしくて、ものさらに言はれたまは
ねば、……

【大成】青表紙本…また聞こえさせむこと—又きこえさせむ事(大) 河内本…該当なし

【別本】また—又(阿中国尾)、聞こえさせむ—きこえさせむ(保尾) —聞えさせん(阿中) —きこえさせん(國)、ことも—ことん(保) —事も(阿中国尾)

83◆(柏木④三三二)

「前略」さりとても、しかすくよかにえ思ひ静むまじう、悲しう
見たてまつりはべるに、いとうれしう浅からぬ御とぶらひのたびた
びになりはべるめるを、ありがたうもと聞こえはべるも、さらばか
の御契りありけるにこそはと、思ふやうにしも見えざりし御心ばへ

なれど、いまはとてこれかれにつけおきたまひける御遺言のあはれなるになむ、うきにもうれしき瀬はまじりはべりける」とて、いたう泣いたまふけはひなり。

【大成】青表紙本…うれしううれしく(横陽)、浅からぬ―あさからぬ(大)、なりはべるめるを、ありがたうもと聞こえはべるも―なり侍めるをありがたうもときこえはへるも(大)―なり侍もめるをありがたうもときこえ侍も(横)、なりはべるめるを―

なりはへめるを(横)、ありがたうもと―ありがたうもと(定)

―ありかたくもと(肖)―ありかたうもとき(三)【河内本】侍めるを―はへるめるを(鳳)【別本】うれしううれし(麥阿)、浅からぬ―はくあさからぬ(保)―人くのあさましからぬ(國)、たひくになり侍める―たえ侍らさめる保國、ありがたうも―ありかたう(國)、はへるも―侍は(保國)

【河内本】はべるめるをありがたうもと聞こえはべるも―はへめるを(ありかたうもときこえ侍も)〔めるを二削訂跡〕〔墨〕(尾)、はべるめるを―はへめるを(宮尾大岩)―はへぬるを(鳳)、はべるも―侍は(岩)

【別本】うれしううれしううれしはく(保絵)―うれしはくはしはく(善)―うれしううれし(國)―うれしう(御三東尾)―うれし(麥阿)、浅からぬ―あさからぬ(保御國麥阿三善東尾絵)、たびたびになり―たえ(國善絵)―はべるめるを―侍さめるを(保絵)―侍めるを(御)―侍さめるを(國)―侍めるを(麥阿)―侍るを(三)

(東)―はへらへめる／へさ(善)―へへめるを(尾)、ありがたうもと―ありかたうと(國)―有かたうもと(麥)―ありかたうもと(三善)―有難うと(東)―ナシ／+ありかたうもと(尾)、聞こえ(保國絵)―きこえ(御三善東)―聞え(麥阿)―ナシ／+きこえ(尾)、はべるも―侍は(保絵)―侍も(御東)―侍るは(國)―侍るも(麥阿三)―はへるは(善)―ナシ／+侍も(尾)

84◆(鈴虫④三三八)

〔前略〕定めなき世といひながらも、さして厭はしきことなき人の、さはやかに背き離るるもありがたう、心やすかるべきほどにつけてだに、おのづから思ひかかづらふ絆のみはべるを。などか。その人まねに競ふ御道心は、かへりてひがひがしう推しはかりきこえさする人もこそはべれ。かけてもいとあるまじき御事になむ」と聞こえたまふを、深うも汲みはかりたまはぬなめりかすと、つらう思ひきこえたまふ。

【大成】青表紙本…背き離るる―そむきはなる、(大)、ほど―程(大)【別本】心やすかるへき―うしろやすかるへき(麥阿)、程―ほとく(言)

【河内本】該当なし

【別本】さはやかに―さやうには(國)―さはやかに(東)、背き離るるも―そむきはなる、も(陽保麥阿中東尾絵)―なりかしことを(國)、ありがたう―ありかたく(保麥中)―あはた、し

う(国)―有かたく(阿)、心やすかるべき―うしろやすかるへき(麦阿)

85◆(夕霧④三九五)

まさりたまひける。御息所も、あはれにありがたき御心ばへにもあるかなと、今はいよいよものさびしき御つれづれを、絶えず訪れたまふに慰めたまふことども多かり。

【大成】河内本…御心ばへ―御心(河) 別本…御心ばへ―御心(御陽保國)

【河内本】あはれに―哀と(に)(七)、御心ばへ―御心(河)、御心はへ「朱」(尾)

【別本】あはれに―哀に(麦阿)―、ありがたき―有かたき(麦)、御心ばへ―御心(陽御保國絵)―御心はえ(麦)―御心はへ／はへ\$(尾)

86◆(夕霧④四一五)

人々は御気色もいとほしきを、嘆かしう見たてまつりつつ、いかなる御事にかはあらむ、何ことにつけてもありがたうあはれなる御心さまはほど経ぬれど、かかる方に頼みきこえては見劣りやしたまはむと思ふもあやふく、など、睦まじうさぶらふかぎりは、おのがどち思ひ乱る。

【大成】青表紙本…何ごと―なにごと(大)、ありがたう―ありか

たふ(大) 河内本…ありがたうあはれなる―哀に有かたき(七宮尾平風大)―ありかたき(加) 別本…ありがたうあはれなる―あはれにありかたき(別)、御心さまは―御心さしは(御)―御心さま(國)

【河内本】ありがたうあはれなる―哀に有かたき(河)「哀に―ナシ(加)」

【別本】何ごと―なにごとに(陽御保國絵)―何事に(御)―なごこと(麦)―なごことに／前と(ママ) (阿)―なに事に(尾)、ありがたう―ありかたき(陽御保尾絵)―有かたき(國麦阿)、あはれなる―あはれに(陽御保國尾絵)―哀に(麦阿)、御心さま―御こ、ろさま(陽絵)―御心さし(御)

87◆(夕霧④四一九)

今朝の御文のけしき、宮もほのかにのたまはせつるやうなど聞こえ、「年ごろ忍びわたりたまひける心の中を聞こえ知らせむとばかりにやはべりけむ。ありがたう用意ありてなむ、明かしもはてで出でたまひぬるを、人はいかに聞こえはべるにか」、律師とは思ひもよらで、忍びて人の聞こえけると思ふ。

【大成】青表紙本…用意―よよい(大)

【河内本】該当なし

【別本】ありがたう―ありかたふ(御)―ありかたく(保)―有かたく(麦阿)、用意―よよい(判読) (陽絵)―よよい(御保

国麦阿尾)、ありてなむ―ありてなん(陽御国麦阿絵)―ありてなむ(保尾)

88◆(夕霧④四四三)

大和守も、「ありがたき殿の御心おきて」など喜びかしこまりきこゆ。

【大成】青表紙本…御心をきて―御心おきて(大)、喜び―よろこひ(大) 別本…殿の―ナシ(麥阿)、なと―と(陽保國麥阿)

【河内本】該当なし

【別本】ありがたき―有かたき(麥)―殿の―との、(御保國)―ナシ(麥阿)、御心おきてと―御こ、ろをきてと(陽絵)―御心をきてなど(御尾)

89◆(夕霧④四七〇)

「などてか、それをもおろかにもてなしはべらん。かしこけれど、御ありさまどもにても、推しはからせたまへ。なだらかならむのみこそ、人はつひのことにははべめれ。さがなく、事がましきも、しばしはなまむつかしう、わづらはしきやうに憚らることあれど、それにしも従ひはつまじきわざなれば、事の乱れ出で来ぬる後、我も人も憎げにあきたしや。なほ南の殿の御心用ゐこそ、さまざまにありがたう、さてはこの御方の御心などこそは、めでたきものには見たてまつりはべりぬれ」などほめきこえたまへば、……

【大成】青表紙本…南の殿の御心用ゐ―みなみのおと、の御こ、ろもちぬ(大)、さまざまに―さままゝに(大)―さままゝ(三)

【河内本】…こそ、さまざまにありがたう、さてはこの御方の御心などこそは、めでたきものには見たてまつりはべりぬれ」など―さてはこなたの御もてなしなどこそさままゝにありかたうみたてまつり侍ぬれと(河)

【別本】…殿の御心用ゐ―御心もちぬさてはこなたの御もてなしと(陽)―御心もちぬさへはこなたの御もてなしと(國)

【河内本】こそ、さまざまにありがたうさてはこの御方の御心などこそは、めでたきものには見たてまつりはべりぬれなど―さてはこなたの御もてなしなどこそさままゝにありかたうみたてまつり侍ぬれと(河)

【別本】南の殿の御心用ゐ―御心もちぬさてはこなたの御心もてなしとこそ(陽絵)―御心もちぬさてはこなたの御もてなしとこそ(御尾)―御心もちぬさへはこなたの御もてなしとこそ(國)―御心もちぬさてはこなたの御もてなしとこそ(保)―御心もちひこそ有かたくてさては此御かたの御心などこそはめてたき物には(麥阿)、ありがたう―ナシ(麥阿)―ありかたふ(御)―ありかたく(保)

90◆(夕霧④四七五)

女も、昔のことを思ひ出でたまふに、あはれにもありがたかりし御

仲のさすがに契り深かりけるかなと思ひ出でたまふ。

【大成】青表紙本…御仲—御中(大) 別本…あはれにも—あはれに(御麥阿) —あはれにもありかくまでも(陽) —あはれにもありかくまでも(保)、ありがたかりし—ありかたかりと(申國)、御中—御事(陽)

【河内本】該当なし

【別本】あはれにも—あはれに(御阿) —哀に(麥) —あはれにもありかくまでも(保) —あはれにもありかくまでも(陽東繪)、ありがたかりし—ありかたかりと申(國) —有かたかりし(麥阿)、御仲—御事(陽繪) —御中の(御保國麥阿尾)

91◆(御法④五一六)

世の中に幸ひありめでたき人も、あいなうおほかたの世にそねまれ、よきにつけても心の限りおごりて人のため苦しき人もあるを、あやしきままでするなる人にもうけられ、はかなくし出でたまふことも、何ごとにつけても世にほめられ、心にくく、をりふしにつけらうらうじく、ありがたかりし人の御心ばへなりかし。

【大成】青表紙…心にくく—心にくう(横)、をりふし—おりふし(大) 別本…をりふしにつけらうらうじく、ありがたかりし人の御心ばへ—けたかくらうくしくをりふしにつけてもあはれなりし人も御こ、ろはせ(保)、つけつ、—つけて(陽)

【河内本】該当なし

【別本】心にくく—ナシ(麥阿)、をりふしに—おりふしに(陽國麥阿尾繪) —けたかく(保) —折ふしに(東)、つけ—つけて—つ(陽繪) —ナシ(保) —つけつ、(國麥阿東尾)、らうらうじく—りやうくしく(陽繪) —らうくしくをりふしにつけても(保) —らうくしく(國麥阿東尾)、ありがたかりし—あはれなりし(保) —有かたかりし(麥阿)、人の—人も(保)、御心はへ—御こ、ろはへ(尾) —御心はえ(麥) —御こ、ろはせ(保)

92◆(幻④五五〇)

その日ぞ出でゐたまへる。御容貌、昔の御光にもまた多く添ひて、ありがたくめでたく見えたまふを、この古りぬる齡の僧は、あいなう涙もとどめざりけり。

【大成】青表紙本…御容貌—御かたち(大)、めでたく—めてたく(大) —補入(池) 見えたまふ—みえ給(大) 別本…御容貌—御かたちを(御保飯麥阿) —ナシ(陽)、めでたく—ナシ(御) —かたはら(麥阿)、見えたまふを—みたてまつるに(御保麥阿) —みえ給(湯)

【河内本】該当なし

【別本】ありがたく—ありかたう(陽保中) —有かたく(東)、めでたく—めてたう(陽) —ナシ(御中東) —かたはら(麥阿)、見え—みえ(陽國尾) —見(御東) —み(保麥阿中)、たまふ—給(陽) —たてまつるに(御保麥中) —奉るに(阿東) —給を(國)

93◆(匂兵部卿宮⑤一七)

光隠れたまひし後、かの御影にたちつぎたまふべき人、そこらの御末々にありがたかりけり。

【大成】青表紙本…たまふべき人―給へき人(大)、御末々―御すゑく(大)、ありがたかりけり―有かたかりける(爲) 別本…かの―ナシ(麥)、たちぎき―立ならひ(麥阿)、人―人こそ(保)、そこから―こころ(保言)、御すゑく―に―御すへくにも(保言)、ありがたかりけり―ありかたかりけれ(保)―有かたかりけるを(麥阿)

【河内本】該当なし

【別本】かの―ナシ(麥)、御影―おほむかけに(保)、御かけに(言 麥阿尾)―おほむかけに／おほむ\$御(東)、たちつぎ―たちつき(保言東尾)―立ならひ(麥阿)、たまふべき―給へき(言 麥阿東尾)、人―人こそ(保)、そこらの―こころの(保)―こころの／こ、ら\$そこら(言)―そこらの(麥阿東尾)、御末々―御すへくにも(保)―御すゑくにも／も\$ (言)―御すゑく(麥阿尾)―御すゑくにも(東)、ありがたかりけり―ありかたかりけれ(保)―ありかたかりけるを(麥阿)―有かたかりけれ(東)

94◆(匂兵部卿宮⑤二九)

冷泉院の一の宮ぞをぞ、さやうにても見たてまつらばや、かひなんありなんかし、と思したるは、母女御もいと重く、心にくくものしたまふあたりにて、姫宮の御けはひ、げにとありがたくすぐれて、よその聞こえもおはしますに、まして、すこし近くもさぶらひ馴れたる女房などの、くはしき御ありさまの事にふれて聞こえ伝ふるなどもあるに、いとど忍びがたく思すべかめり。

【大成】青表紙本…姫宮―ひめ宮(大)、ありがたく―有かたく(大)、げにいと―げにと(爲 榊池肖三) 別本…御けはひ、げに―御けはひも(麥阿)、すぐれて―ナシ(保言)―よにすぐれて(飯)

【河内本】該当なし

【別本】姫宮の―ひめ宮の(保阿)―ひめみやの(尾)、御けはひ―御気はひ(言東)―御けはひも(麥阿)、げに―ナシ(麥阿)、ありがたくすぐれて―ありかたう(保)―ありかたう／う\$く(言)―有かたふすぐれて(麥)―有かたうすぐれて(阿)―ありかたく(東)―ありかたくすぐれて

95◆(竹河⑤六六)

「内裏に仰せらるることあるやうにうけたまはりしを、いづ方に思ほし定むべきことにか。院は、げに、御位を去らせたまへるにこそ、盛り過ぎたる心地すれど、世にありがたき御ありさまは古りがたくなみおはしますめるを、……」

【大成】別本…御ありさまは—御さまに（大）

【河内本】該当なし

【別本】世に—よに（保善国麦阿尾絵）、ありがたき—有かたき（国）、御ありさまは—御さまに（善）—御有様は（麦）

96◆（橋姫⑤一三二）

阿闍梨、中将の君の道心深げにものしたまふなど語りきこえて、「法文などの心得まほしき心ざしなん、いはけなかりし齡より深く思ひながら、え避らず世にあり経るほど、公私に暇なく明け暮らし、わざと閉ぢ籠りて習ひ読み、おほかたはかばかしくもあらぬ身にしも、世の中を背き顔ならんも憚るべきにあらねど、おのづからうちたゆみ紛らはしくてなん過ぐしくるを、いと^ゑありがたき御ありさまをうけたまはり伝へしより、かく心にかけてなん頼みきこえさするなど、ねむごろに申したまひし」など語りきこゆ。

【大成】別本…いと—ナシ（國）

【河内本】該当なし

【別本】いと—ナシ（國）、ありがたき—ありかたうき／う\$（保）—有かたき（麦阿中）、御ありさま—御有りさま（麦中）

97◆（橋姫⑤一三二）

宮、「世の中をかりそめのことと思ひとり、厭はしき心のつきそむることも、わが身に愁へある時、なべての世も恨めしう思ひ知るは

じめありてなん道心も起こるわざなめるを、年若く、世の中思ふにかなひ、何ごとも飽かぬことはあらじとおぼゆる身のほどに、さ、はた、後の世をさへたどり知りたまふらん^がありがたさ。……

【大成】青表紙本…たどり知りたまふらん—たどりしり給らん（大）

【別本】後の世—のちのこと（保）、たどり—さとり（國）、たまふらんが—ためへらむ（横保）、ありがたさ—ありかたさよ（宮國）—有かたきに（麥阿）

【河内本】たまふらん—給へらん（吉）

【別本】後の世をさへ—後世をさへ（陽麦中尾絵）—のちのことおさへ（保）—後のよをさへ（國）—のちのよをさへ（阿）—のちの世をさへ（言）、たどり知り—たとりしり（陽保言尾絵）—さとり（國）、たまふらん—給らん（陽国麦阿言中絵）—給えらん（保）—たまふ覧か（尾）、ありがたさ—ありかたさに（國）—有かたき（麦阿中）—ありかたさ／さ^き（言）

98◆（橋姫⑤一三八）

「あぢきなき御もの隠しなり。しか忍びたまふなれど、皆人ありがたき世の例に、聞き出づべかめるを」とのたまひて、……

【大成】青表紙本…世の例—世のためし

【河内本】該当なし

【別本】ありがたき—有かたき（陽麦阿中絵）、世の—よの（保麦中尾）、例に—ためしに（陽保国麦阿言中尾絵）

99◆(橋姫⑤一四二)

「かつ知りながら、うきを知らず顔なるも世のさがと思うたまへ知るを、一ところしもあまりおほめかせたまふらんこそ口惜しかるべけれ。ありがたう、よろづを思ひすましたる御住まひなどに、たくひきこえさせたまふ御心の中は、何ごとも涼しく推しはからればべれば、なほかく忍びあまりはべる深さ浅さのほども分かせたまはんこそかひははべらめ。……」

【大成】青表紙本…ありがたう—あひかたう(池)、よろづ—世(横)、思ひすましたる—おもひすましたる(大) —思すまし給へる(宮國) —おほしすましたる(横保)

【河内本】ありがたう—有かたく(吉)、思ひすましたる—おもひ(す)ましたる(おもひニ削訂跡)「朱」(尾)

【別本】ありがたう—有かたう(陽絵) —ありかたく(保国) —有かたく(麦阿中)、よろづを—万を(阿)、思ひすましたる—おほしすましたる(保) —思すまし給る(國) —思すましたる(麦) —おもひすましたる(言中) —おもひすましたる／ひす(尾)

100◆(橋姫⑤一四四)

「いともあやしく、世の中に住まひたまふ人の数にもあらぬ御ありさまにて、さもありぬべき人々に、とぶらひ数まへきこえたまふも見え聞こえずのみなりまさりはべるめるに、ありがたき御心ざし

のほどは、数にもはべらぬ心にも、あさましきまで思ひたまへきこえさせはべるを、若き心地にも思し知りながら、聞こえさせたまひにくきにやはべらん」と、いとつつみなくもの馴れたるもなま憎きものから、……

【大成】別本…御心ざし—御心はへ(別)

【河内本】該当なし

【別本】ありがたき—有かたき(陽絵)、御心ざしの—御こ、ろさしの(陽言尾絵) —御こ、ろはへの(保) —おほん心はへの(國) —御心はへの(麦阿中)、ほどは—程は／ね&程(言) —程は(尾)

101◆(椎本⑤一九九)

ありがたくあさましきことどもをも見たる人なりければ、かうあやしく衰へたる人とも思し棄てられず、いとつかしう語らひたまふ。

【大成】青表紙本…見たる人—みたる人(大) 別本…ことどもをも見たる—事とも思もたる(陽) —こと、もをおもひもたりける(保)

【河内本】ことどもをも—こと、もを(御兼) ※

【別本】ありがたく—有かたく(麦)、ことども—事とも(陽) —こと、もを(保) —こと、もをも(國尾) —事を(麦阿)、見たる—思もたる(陽) —おもひもたりける(保) —みたる(尾)

102◆(椎本⑤二二二)

年かはりぬれば、空のけしきうららかなるに、汀の水とけたるを、
ありがたくもとながめたまふ。

【大成】青表紙本…汀の水―みぎはのこほり(大)、とけたるを―
とけわたるにつけてもかうまてなからへけるも(肖三)、ありが
たくも―有かたくも(大)、ながめたまふ―なかめ給(大)河内本…
とけたるを―とけたるにつけてもかうまてなからへけるも(七)
―とけわたるにつけてもかうまてなからへけるも(宮尾大鳳國)
【別本】…とけたるを―とけわたるにつけてもかうまてなからへけ
るも(保)

【河内本】とけたるを―とけたるにつけてもかうまてなからへける
も(御兼)―とけにたるにつけてもかうまてなからへけるも(七)
―とけわたるにつけてもかうまてなからへけるも(宮尾大鳳國岩)
【別本】汀の水―みぎはのこほり(陽保国麦阿尾)、とけたるを―
とけわたるにつけてもかうまてなからへけるも(保国麦阿尾)、
ありがたくも―有かたくもと(麦阿)、ながめたまふ―なかめ給
(陽保国麦阿尾)

103 ◆(総角⑤二二二)

あざやかならず、もの恨みがちなる御気色やうやうわりなくなりゆ
けば、わづらはしくて、うちとけて聞こえたまはむこともいよいよ
苦しけれど、おほかたにてはありがたくあはれなる人の御心なれば、
こよなくももてなしがたくて対面したまふ。

【大成】青表紙本…ありがたく―ありかたう(御)―ありかたう
(池三) 別本…人の御心―御心さま(平)

【河内本】ありがたく―有かたう(河)
【別本】おほかたにては―大方にては(陽中)、ありがたく―あり
かたう(陽国蓬尾)―有かたく(阿中)、あはれなる―哀なる(陽
阿)

104 ◆(総角⑤二四九)

二ところながらおはしまして、ことさらにいみじき御心尽くしてか
しづきこえたまはむに、えしもかく世にありがたき御事ども、さ
し集ひたまはざらまし。

【大成】青表紙本…たまはむに、えしも給はむにえしも(大)―
給はんにはえしも(御)―給はんにはしも(池三)―給はんには
(え)しも(肖)、御事ども―御ことども(大) 河内本…たまは
んむに、えしも―給はんにはしも(大)、かく―ナシ(河) 別本…
えしも―ナシ(平)、かく世に―かやうに(横)―よにかう(保)
―かく(平) 御事ども―御事も(横)―御ことどもは(平)

【河内本】たまはむにえしも―給はんにはしも(大)、かく―ナシ
(河)、ありがたき―ありか―た一き(風)
【別本】かく―よに(保)―ナシ(国阿中蓬尾)、世に―かう(保)
―よに(蓬尾)、ありがたき―有かたき(陽中阿)、御事ども―御
ことども(陽国)―御事ども(保蓬尾)―御事も(阿中)

105◆(総角⑤二五〇)

「(前略)まして、かくばかり、ことさらにも作り出でまほしげなる人の御ありさまに、心ざし深くありがたげに聞こえたまふを、あながちにもて離れさせたまうて、思しおきつるやうに行いひの本意を遂げたまふとも、さりとして雲、霞をやは」など、すべて言多く申しつづれば、いと憎く心づきなしと思して、ひれ臥したまへり。

……

【大成】青表紙本…深く—ふかく(大) —ふかう(御池三)、聞こえたまふ—きこえ給(大) 河内本…心ざし—心さしう(大) 別本…深くありがたげに—ふかきはありかたく(横)

【河内本】心ざし—心さしう(大)、深く—ふかう(河)

【別本】心ざし—こ、ろさし(保)、深く—ふかう(陽保国尾) —ふかく(阿中) —ふかう／つ&ふ(蓬)、ありがたげに—有かたけに(陽阿中)、聞こえ—聞え(陽阿中) —きこえ(保国蓬尾)、たまふ—給(陽国阿蓬) —給ふ(中)

106◆(総角⑤二八一)

宮は、ありがたかりつる御暇のほどを思しめぐらすに、……

【大成】青表紙本…御暇—御いとま 別本…ありがたかりつる—ありかたく、るしくかりつる(横) —有かたくるしかりつる(陽保平)、御暇—いとま(横)

【河内本】ほどを—ほとも(宮国) —ほとも(をイ) 宮

【別本】ありがたかりつる—有かたくるしかりつる(陽) —ありかたくるしかりつる(保) —有かたかりつる(阿)、御暇の—御いとまの(陽保国阿中蓬尾)、ほど—程(中)

107◆(総角⑤二八七)

姫宮も、をりうれしく思ひきこえたまふに、さかしら人のそひたまへるぞ、恥づかしくもありぬべく、なまわづらはしく思へど、心ばへのどかにもの深くものしたまふを、げに人はかくおはせざりけりと見あはせたまふに、ありがたしと思ひ知らる。

【大成】青表紙本…のどかに—のどかに(大) もの深く—ものふかく(大) —物ふかう(池三)、ものしたまふ—ものし給(大)、思ひ知らる—思しらる(大) —思しられ(る) 河内本…心ばへの—心はへ(大)、思しらる—思しる(大) 別本…心ばへの—心はへ(陽)、のどかにもの深く—よにふかく(横) —ふかくのとやかに(平)、思ひ知らる—おほす(横平) —思しらる、(陽) 河内本…心ばへの—心はへ(大)、もの深く—物ふかう(河)、思ひ知らる—思しる(大)

【別本】心ばへの—心はへ(陽) —心はえの(中) —心はへのほと(蓬)、のどかに—、とかに(のどかに) (保尾)、もの深く—ものふかく(陽) —ものふかう(保尾) —物ふかう(国阿中蓬)、ものし—物し(中)、たまふ—給(陽国阿中蓬)、ありがたしと—

有かたしと(阿)、思ひ知らる―思ひしらる、(陽)―思しらる
(保国阿蓬)―おもひしらる(中尾)

108◆(総角⑤三二〇)

姫宮、もの思ふ時のわざと聞きし、うたた寝の御さまのいとらうた
げにて、腕を枕にて寝たまへるに、御髪のたまりたるほどなど、あ
りがたくうつくしげなるを見やりつつ、……

【大成】青表紙本…御髪―御くし(大)、ありかたく―ありかたう
(御池三)【別本】…たまりたる―たまれる(陽)、ほどなど―ほと
(横)―ほと(陽)、ありがたく―ありかたく(横)

【河内本】ほどなど―ほとなんと(宮)―ほと(吉)、ありがたく
―ありかたう(七宮尾大鳳前国岩)

【別本】御髪の―御くしの(陽保国阿中蓬尾)、たまりたる―たま
れる(陽)、ほどなど―ほと(陽)―程など(蓬)、ありがたく
―ありかたう(国蓬尾)―有かたく(阿)

109◆(総角⑤三二三)

さばかり世にありがたき御ありさま容貌を、いとど、いかで人にめ
でられむと、好ましく艶にもてなしたまへれば、若き人の心寄せた
てまつりたまはむことわりなり。

【大成】青表紙本…ありかたき―たくひなき(肖)、容貌―かたち
(大)【河内本】…ありがたき―たくひなき(河)【別本】…ありがた

き―たくひなき(別)、御ありさま―御さま(横)

【河内本】世に―(よに)(大)、ありがたき―たくひなき(河)―
ありかたき(たくひなき)【墨】(尾)

【別本】世に―よに(保蓬尾)、ありがたき―たくひなき(陽保国
阿中)―ありかたき/\$たくひなき(尾)、御ありさま―御さま
(保)―御有さま(阿中)、容貌―かたち(陽保国阿中蓬尾)

110◆(総角⑤三二九)

今はのこともするに、御髪をかきやるに、さとうち匂ひたる、た
だありしながらの匂ひになつかしうかうばしきも、ありがたう、何
ごとにてこの人をすこしもなめなりしと思ひさまさむ、まことに
世の中を思ひ棄てはつるしるべならば、恐ろしげにうきことの、悲
しさもさめぬべきふしをだに見つけさせたまへと仏を念じたまへど、
(後略)

【大成】青表紙本…匂ひたる―にほひたる(大)【河内本】…ありし
ながらの匂ひになつかしうかうばしきも―ナシ(前)【別本】…う
ち匂ひたる―にほひたる(陽)―うちにほひたるか(保)―うち
にほふ(平)、匂ひに―にほひ(横)―にほひか(保)―にほひ
にかはらず(平)、ありがたう―ナシ(横)

【河内本】さと―さま(と)(岩)、ありしながらの匂ひになつかし
うかうばしきも―ナシ(前)、ありがたう―ありかたく(宮国)
【別本】うち匂ひたる―にほひたる(陽保)―うちにほひたるか(保)

―うちにはひたる(国阿中蓬尾)、ただ―ナシ(阿中)、ありしな
がらの―ナシ(阿中)、匂ひに―にはひに(陽国蓬尾)―にいほ
ひか(保)―ナシ(阿中)、なつかしう―なつかしく(中)、あり
がたう―ありがたく(陽国)―有かたく(阿中)

111 ◆(早蕨⑤三四八)

宮は、おはしますことのいとところせくありがたければ、京に渡し
きこえむと思したちになり。

【大成】青表紙本…いと―ナシ(御池)―いとと(横) 別本…こ
との―こと(保)、いと―いと、(平)

【河内本】該当なし

【別本】おはします―をはします(陽絵)―ナシ(麦阿中)、こと
の―こと(保)―ナシ(麦阿中)、いと―ナシ(麦阿中)、ところ
せく―所せく(陽保絵)―ナシ(麦阿中)、ありがたければ―有
かたければ(麦阿國中)

112 ◆(早蕨⑤三五〇)

物語をえはるけやりたまはで夜もいたう更けぬ。世よに例よありがたか
りし仲の睦むねびを、(匂宮)「いで、さりともし、いとさのみはあらざり
けむ」と、残りありげに問ひなしたまふぞ、わりなき御心ならひな
めるかし。

【大成】青表紙本…例―ためし(大)、ありがたかりし―ありかた

かりける(大)、仲の睦むねび―中なかつひ(大) 河内本…中―御中
(河) 別本…中―御中(保平麥阿)

【河内本】ありがたかりし―ありかたき(かり)ける(岩)、仲―
御中(河)

【別本】世に―よに(陽保麦阿中尾絵)、例(陽保麦阿國中尾絵)、
ありがたかりし―ありがたかりける(陽保国尾絵)―有かたかり
ける(麦阿中)、仲の―なかの(陽国絵)―御中の(保麦阿中)
―御なかの(尾)、睦むねび―むつひ(陽保麦阿國中尾絵)

113 ◆(早蕨⑤三三三)

「をりにつけては、忘れぬさまなる御心寄せのありがたく、はらか
らなども、えいとかうまではおはせぬわざぞ」など、人々は聞こえ
知らず。

【大成】青表紙本…忘れぬさま―わすれぬさま(大)、御心寄せ―
御心よせ(大) 河内本…御心よせ―御よせ(七) 別本…忘れぬ

さまなる御心寄せ―わすれぬ御心はへ(保)、さま―御さま(平)

【河内本】御心寄せ―御よせ(七)、ありがたく―ありかたう(吉)

【別本】忘れぬ―わすれぬ(陽保麦阿國中尾絵)、さまなる―ナシ
(保)、御心寄せ―御こ、ろよせ(陽尾絵)―御心はへ(保)―
御心よせ(麦阿國中)、ありがたく―ありかたう(保)―有かた
く(麦阿中)

114 ◆ (早蕨⑤三六一)

「しほたるるあまの衣にことなれや浮きたる波にぬるるわが袖
世に住みつかむことも、いとありがたかるべきわざとおぼゆれば、
さまに従ひてここをば散れはてじとなむ思ふを、さらば対面もある
ぬべけれど、しばしのほども、心細くて立ちとまりたまふを見おく
に、いとど心ゆかずなむ。(後略)」など、いとなつかしく語らひた
まふ。

【大成】青表紙本…住みつかむこと―すみつかむこと (大) 別本…
こと―ナシ (阿)、わざと―事になん (保)、おほゆれば―おほゆ
るを (保) ―おもほすは (麥阿)

【河内本】該当なし

【別本】世によに (保麥阿中)、住みつかむ―すみつかん (陽麥
中尾絵) ―すみつかむ (保国) ―すみつかんも (阿)、ことも―
事も (陽保麥中絵) ―ナシ (阿)、ありがたかるべき―有かたか
るへき (麥中阿) ―ありかたかるへきに (国)、わざ―事 (保)

115 ◆ (宿木⑤四〇七)

寝きたれの御容貌いとめでたく見どころありて、入りたまへるに、
臥したるもうたてあれば、すこし起き上がりておはするに、うち赤
みたまへる顔のほひなど、今朝しも常よりことをかしげさまさ
りて見えたまふに、あいなく涙ぐまれて、しばしうちまもりきこえ
たまふを、恥づかしく思つてうつぶしたまへる、髪のかかり髪ざし

など、なほいとありがたげなり。

【大成】青表紙本…恥づかしく―はつかしく (大)、思つて―おほ
して (大)、うつぶし―うちうつぶし (池肖三)、たまへる―給へ
る (大)、髪―かみ (大)、髪ざし―かんざし (大)、なほ―猶 (大)、
ありがたげなり―ありかたげ也 (大) 別本…きこえたまふを、
恥づかしく思つてうつぶしたまへる、髪のかかり髪ざしなど、な
ほいとありがたげなり―ナシ (保)、いと―ナシ (阿)、ありがた
げなり―ありかたぐみゆ (陽)

【河内本】うつぶし―うちふし (吉)

【別本】恥づかしく―はつかしく (陽国高三尾絵) ―ナシ (保) ―
はつかしう (阿)、思つて―おほして (陽国高阿三尾絵) ―ナシ
(保)、うつぶし―ナシ (保) ―うちうつぶし (三三)、たまへる―
給へる (陽国高阿三尾絵) ―ナシ (保)、髪のかみの (陽国高
阿三尾絵) ―ナシ (保)、かかり―ナシ (保)、髪ざしなど―かん
ざしなど (陽国高阿絵) ―ナシ (保) ―かむさしなど (三尾)、
なほ―なを (陽高阿尾絵) ―ナシ (保) ―猶 (国三)、いと―ナ
シ (保)、ありがたげなり―ありがたくみゆ (陽絵) ―有かたけ
也 (阿) ―ナシ (保)

116 ◆ (宿木⑤四二九)

男君は、いにしへを悔ゆる心の忍びがたさなどもいとしづめがたか
りぬべかめれど、昔だにありがたかりし御心の用意なれば、なほい

と思ひのままにもてなしきこえたまはざりけり。

【大成】青表紙本…昔だに―むかしたに(大)、御心の―心の(大)―御ころの(横池肖三)河内本…心の―御ころの(河)別本…御心の―御心(陽)

【河内本】昔だに―むかし(た)に「朱」(尾)、御心の―御ころの(河)

【別本】昔だに―むかしたに(陽保国高阿三絵)―むかしに／し＋た(尾)、ありがたかりし―有かたかりし(阿)―御心の用意―御心ようい(陽絵)―御ころのようい(保)―御心のようい(国高)―御心のようい(阿三)―御ころのようい(尾)

117◆(宿木⑤四三四)

さても、あさましくゆめたゆめて、入り来たりしほどよ、昔の人に疎くて過ぎにしことなど語りたまひし心ばへは、げにありがたかりけりと、なほ、うちとくべく、はた、あらざりけりかし、など、いよいよ心づかひせらるるにも、久しくとだえたまはんことはいともの恐ろしかるべくおぼえたまへば、…

【大成】青表紙本…過ぎにしことなど―すきにし事など(大)、語り―かたり(大)たまひし―給し(大)―給ふし(横)、ありがたかりけりと―ありがたかりけれと(肖三)河内本…ありがたかりけりと―ありかたかりけれと(河)別本…ありがたかりけりと―ありかたかりけれと(陽阿桃)―ありかたけれと(保)

【河内本】ありがたかりけりと―ありかたかりけれと(河)―ありかたかりけり(れ)と「墨」(尾)

【別本】過ぎにし―すきにし(陽保高阿尾絵)―過にし(国三)、ことなど―事など(阿三)、語り―かたり(陽保国高阿三尾絵)、たまひし―給し(陽国高阿三尾絵)、心ばへ―ころはへ(保尾)、ありがたかりけり―ありかたかりけれと(陽三絵)―ありかたけれと(保)―あろかたかりけれと(阿)―ありかたかりけりと前3り\$れ(尾)

118◆(宿木⑤四四二)

艶に、そぞろ寒く花の露をもてあそびて世は過ぐすべきものと思したるほどよりは、思す人のためなれば、おのづから、をりふしにつけつつ、まめやかなることまでもあつかひ知らせたまふこそ、ありがたくめづらかなることなめれば、「いでや」など、譏らはしげに聞こゆる御乳母などもありけり。

【大成】青表紙本…おのづから―をのづから(大)、をりふし―おりふし(大)、まめやかなること―まめやかなる事(大)、までも―まで(池肖三)、知らせたまふ―しらせ給(大)河内本…までもあつかひ知らせ―までもあつかひしらせ(河)、ことなめれば―ことなめれ(御七尾平鳳)別本…をりふしにつけつつ、まめやかなることまでもあつかひ知らせたまふこそ―さるべきことをしりたまふなん(保)、ことなめれば―ことなめれは(陽)―こ

とに(保)

【河内本】までもあつかひ知らせ—までもあつかひしらせ(河)
—までも(て)あつかひしらせ「墨」(尾)、めづらかなる—めつ
らしかなる「墨」(尾) —めつらしかなる(岩) ※、ことなめれ
ば—ことなめれ(御七尾平鳳吉岩) —ことなめれは「墨」(尾)

※

【別本】をりふしに—ナシ(保) —おりふしに(国高阿三、つけ
つ—ナシ(保)、まめやかなる—ナシ(保) —まめやかなる(陽
繪)、ことまでも—事までも(陽阿三繪) —ナシ(保) —ことま
ても／おて(尾)、あつかひ知らせ—あつかひしらせ(陽国高
阿三尾繪) —しり(保)、たまふこそ—給こそ(陽国高阿三尾繪)
—たまふなん(保)、ありがたく—有かたく(阿)、めづらかなる
—めつらしかなる／し\$ (尾)、ことなめれば—ことなめれは(陽
繪) —ことにそしらはしくおもひ(保) —事なめれは(阿) —事
なめれ(三) —ことなめれは／は\$

119 ◆(宿木⑤四四六)

げに、誰も千年の松ならぬ世をと思ふには、いと心苦しくあはれな
れば、この召し寄せたる人の聞かんもつつまれず、かたはらいたき
筋のことをこそ選りとどむれ、昔より思ひきこえしさまなどを、か
の御耳ひとつには心得させながら、人はまたかたはにも聞くまじき
さまに、さまよくめやすくぞ言ひなしたまふを、げに^{げに}ありがたき御

心ばへにもと聞き^きみたりけり

【大成】青表紙本…げに—ふけに(横)、聞きみたりけり—き、み
たりけり(大) き、みたり(肖三) 【別本】御心ばへにも—御心
にも(陽) —御こ、ろはへなりけり(保)、聞きみたりけり—き、
みたり(宮國) —ほのくき、みたり(保)

【河内本】御心ばへにも—御心はへにも(と)「朱」(尾)

【別本】ありがたき—有かたき(阿)、御心ばへにも—御心にも
と(陽繪) —御こ、ろはへなりけりとほのく(保)、御心はへ
にもと／も+と(尾)、聞きみたりけり—き、みたりけり(陽阿
三尾繪) —き、みたり(保国高)

120 ◆(東屋⑥一七)

かの尼君のもとよりぞ、母北の方に、のたまひしさまなどたびたび
ほのめかしおこせけれど、まめやかに御心とまるべきこととも思は
ねば、たださまでも尋ね知りたまふらんこととばかりをかしう思ひ
て、人の御ほどのた^た今世^にありがたげなるをも、数ならまし^かば
などぞよろづに思ひける。

【大成】河内本…ただ今—た、今の(七) 【別本】御ほどの—御ほ
と(陽)、た、今—た、いまの(御保)、世に—ナシ(宮國) —に
は(圖)、ありがたげなるをも—ありがたげなるを(御陽保)

【河内本】ただ今—た、今の(七)

【別本】御ほど—御ほと(御高保池国阿尾繪)、今—いま(陽高

池国尾絵) —いまの(御保)、世に(陽御保池尾絵) —ナシ(高国)、ありがたげなるをも—ありかたけなるを(陽御保阿絵)

121 ◆(東屋⑥五五)

寄りゐたまへりつる真木柱も褥も、なごり匂へる移り香、言へばいとことさらめきたるまででありがたし。時々見たてまつる人だに、たびごとにめできこゆ。

【大成】青表紙本…匂へる—にほへる(大)、移り香—うつりか(大)、言へば—いへは(大) 【別本】…なごり—なごりに(御)、匂へる—のこれる(陽圖) 移り香—うつりかも(御保)、いと—ナシ(宮保圖池國)、ことさらめきたるまで—ことさらめきたり(宮陽圖國)、—ことさらめきて(池)、ありがたし—ありかたしと(宮陽圖國)、ありがたし時々見たてまつる人だにたびごとにめで—ナシ(池)

【河内本】なごり—なごりは(大)、匂へる—のこれる(吉)、ことさらめきたるまで—ことさらめたるまで(吉)

【別本】なごり—なごりに(御阿) —名ごり(国)、匂へる—のこれる(陽絵) —、ほへる(にほへる)(御) —にほへる(高保国阿尾) —にほえる(池)、移り香—うつりか(陽阿尾絵) —うつりかも(御保) —うつり香(高池國)、言へば—いへは(陽御高保池國阿尾絵)、いと—ナシ(御高保池國)、ことさらめきたるまで—ことさらめきたり(陽高國絵) —ことさらめいたるまで(御

保) —ことさらめきて(池)、ありがたし—ありかたしと(高国) —ナシ(池) —有かたし(阿)

122 ◆(東屋⑥七〇)

この君は、言はでうしと思はんこと、いと恥づかしげに心深きを、あいなく思ふこと添ひぬる人の上なめり、年ごろ見ず知りざりつる人の上なれど、心ばへ、容貌を見れば、え思ひはなつまじう、らくたく心苦しきに、世の中はありがたく、むつかしげなるものかな、わが身のありさまは、飽かぬこと多かる心地すれど、…

【大成】青表紙本…ものかな—物かな(大) 【別本】…むつかしげなる—むつかしき(池)

【河内本】該当なし

【別本】世の中は—よのなかは(陽絵) —よの中は(御保池) —世中は(高国阿尾)、ありがたく—有かたく(阿) —むつかしげなる—むつかしき(池) —、ものかな—物かな(陽阿絵)

123 ◆(浮舟⑥一三七)

めづらしくをかしと見たまひし人よりも、また、これはなほありがたきさまはしたまへりかしと見たまふものから、いとよく似たるを思ひ出でたまふも胸ふたがれば、いたくもの思したるさまにて、御帳に入りて大殿籠る。

【大成】青表紙本…なほ—なを(大)、見たまふ—みたまふ(大)、

また、これは―補入(榊) 別本…さまは―さま(宮國)、したまへり―したり(宮國) ーしたまひたり(陽)

【河内本】 該当なし

【別本】 これは―是は(阿)、なほ―猶(陽高国阿尾) ーなを(麦蓬)、ありがたき―有かたき(麦阿)、さまは―さま(高国)、し―したりかしと(高国)、たまへりかし―たまひたりかしと(陽) ーナシ(高国) ー給へりかしと(麦阿尾)、見―み(陽高国麦蓬尾)、たまふものから―給物から(陽高国麦) ー給ふ物から(阿) ー給ものから(尾)

124 ◆(浮舟⑥一三八)

「まことにつらしと思ひきこゆることもあらむは、いかに思さるべき。まろは、御ためにおろかなる人かは。人も、ありがたしなとと咎むるまでこそあれ。人にはこよなう思ひおとしたまふべかめり。それもさべきにこそはとことわらるるを、隔てたまふ御心の深きなむ、いと心憂き」とのたまふにも、宿世のおろかならで尋ね寄りたるぞかしと思し出づるに涙ぐまれぬ。

【大成】 青表紙本…咎むる―とかむる(大) 別本…なと―と(麥) 河内本】 該当なし

【別本】 ありがたしなど―ありかたきしなと/き\$ (陽) ー有かたしと(麦) ー有かたしなと(阿)、咎むる―、かむる(とかむる) (陽蓬) ーとかむるまでこそ(高国麦阿尾)、あれ―あれと(高

国蓬)

125 ◆(浮舟⑥一七五)

「(前略) 女のいたくもの思ひたるさまなりしも、片はし心得そめたまひては、よろづ思しあはするに、いとうし。ありがたきものは、人の心にもあるかな、らうたげにほどかなりとは見えながら、色めきたる片は添ひたる人ぞかし、……」

【大成】 青表紙本…人の心にも―人の心にも(榊)、あるかな―あるかなと(榊)

【河内本】 該当なし

【別本】 ありがたき―有かたき(麦)、もの―物(高国麦阿蓬)、心―こ、ろ(陽蓬)

126 ◆(蜻蛉⑥二七二)

対の御方の、かの御ありさまをば、ふさはしからぬものに思ひきこえて、いと便なき睦びになりゆく、おほかたのおほえをば苦しと思ひながら、なほさし放ちがたきものに思し知りたるぞ、ありがたくあはれなりける、さやうなる心ばせある人、こころの中にあらむや、入りたちて深く見ねば知らぬぞかし、寝ざめがちにつれづれるを、すこしはすきもならばばや、など思ふに、今はなほつきなし。

【大成】 青表紙本…苦し―くるし(大)、思ひながら―思ながら(大)、なほ―猶(大)、さし放ち―さしはなち(大)、思し知りたる―お

ほしりたる(大)【別本】おほえーおもひ(保)、思し知りたるぞーおほし、りたるこそ(陽)、ありがたくーなをありかたく(保)、あはれなりけるーあはれなりけれ(陽)

【河内本】該当なし

【別本】おほかたのー大かたの(陽高麦阿)、おほえをばーおほひをは(保)、苦しとーくるしと(陽高保国麦阿尾)、思ひながらーおもひながら(陽高保国麦阿尾)ー思ながら(高麦阿尾)、なほーなを(陽麦阿尾)ー猶(高保国)さし放ちがたきーさしはなちかたき(陽高保国麦阿尾)、ものにー物に(陽高国麦阿)、思し知りたるぞーおほし、りたるこそ(陽)ーおもほしりたるぞ(高国)ーおほし、りたるぞ(保尾)ーおほしりたるぞ(麦阿)、ありがたくー有かたく(陽保麦阿)ーなをありかたく(保)、あはれなりける。さやうなるーあはれなりけれ(陽)ーあはれなりける(高)ー哀なりける(国)ー哀なりけるさやうなる(麦)ー哀也けるさやうなる(阿)

127 ◆ (蜻蛉⑥二七五)

容貌もいとなまめかしからむかしと、見まほしきけはひのしたるを、この人ぞ、また、例の、かの御心乱るべきつまなめると、をかしうも、ありがたの世やとも思ひあたまへり。

【大成】青表紙本…世やとーよやと(大)ーよやとも(横池肖三)、思ひあたまへりー思ひる(朱)給へり(大)ー思ひあたまへり(横)

【河内本】…世やとー世やとも(御七尾大鳳)ー世中とも(前)【別本】…ありがたの世やと思ひあたまへりーナシ(陽)、世やとーよやとも(保麥阿)

【河内本】世やともー世やとも(河)「世やー世(中前)」、思ひあたまへりー思あたまへる(大)

【別本】ありがたの世やとも思ひあたまへりーあり(陽阿)ーありかたの世やともおもひあたまへり(高)ーありかたのよやともおもひあたまへり(保)ーありかたのよやとおもひあたまへり(国)ー有かたの世やとも思ひ給へり(麦阿)ーありかたの世やとも思ひ給へり(尾)

128 ◆ (夢浮橋⑥三九一)

尼君、御文ひき解きて見せたてまつる。ありしながらの御手にて、紙の香など、例の、世づかぬまでしみたり。ほのかに見て、例のものでのさし過ぎ人、いとありがたくをかしと思ふべし。

【大成】青表紙本…をかしーおかし(大)、思ふべしーおもふへし(大)【別本】いとーナシ(麥阿)、思ふーみる(保桃)

【河内本】該当なし

【別本】いとーナシ(麦阿)、ありがたくー有かたく(阿)、おかしとーをかしと(保国)、思ふべしーみるへし(保)ーおもふへし(高国尾)ー思ふへし(麦阿)

おわりに

本稿では、新全集における「ありがたし」の全用例の本文を確認することができる。また、各用例においての本文異同を一覧することができ、「ありがたし」の検討に際して有効な資料となりうる。また、「ありがたし」のみならず、「ありがたし」の前後に接続する語や、対象となる箇所、また「ありがたし」という評価・判断を示す語（助動詞や補助動詞や助詞も含む）の異同を示したことは、「ありがたし」という表現について、より詳細な検討を可能にするだろう。

「ありがたし」という表現が、ほかの語と接続する場合の特徴や、たとえば「思ふ」「見る」など、述語が異なる場合にどのような差異が生じてくるのかなどについては今後の課題とする。

※本稿は二〇一六年度立教大学学術推進特別重点資金（立教SFR）による研究成果の一部である。

（いずみやさつき 大学院博士後期課程在學生）